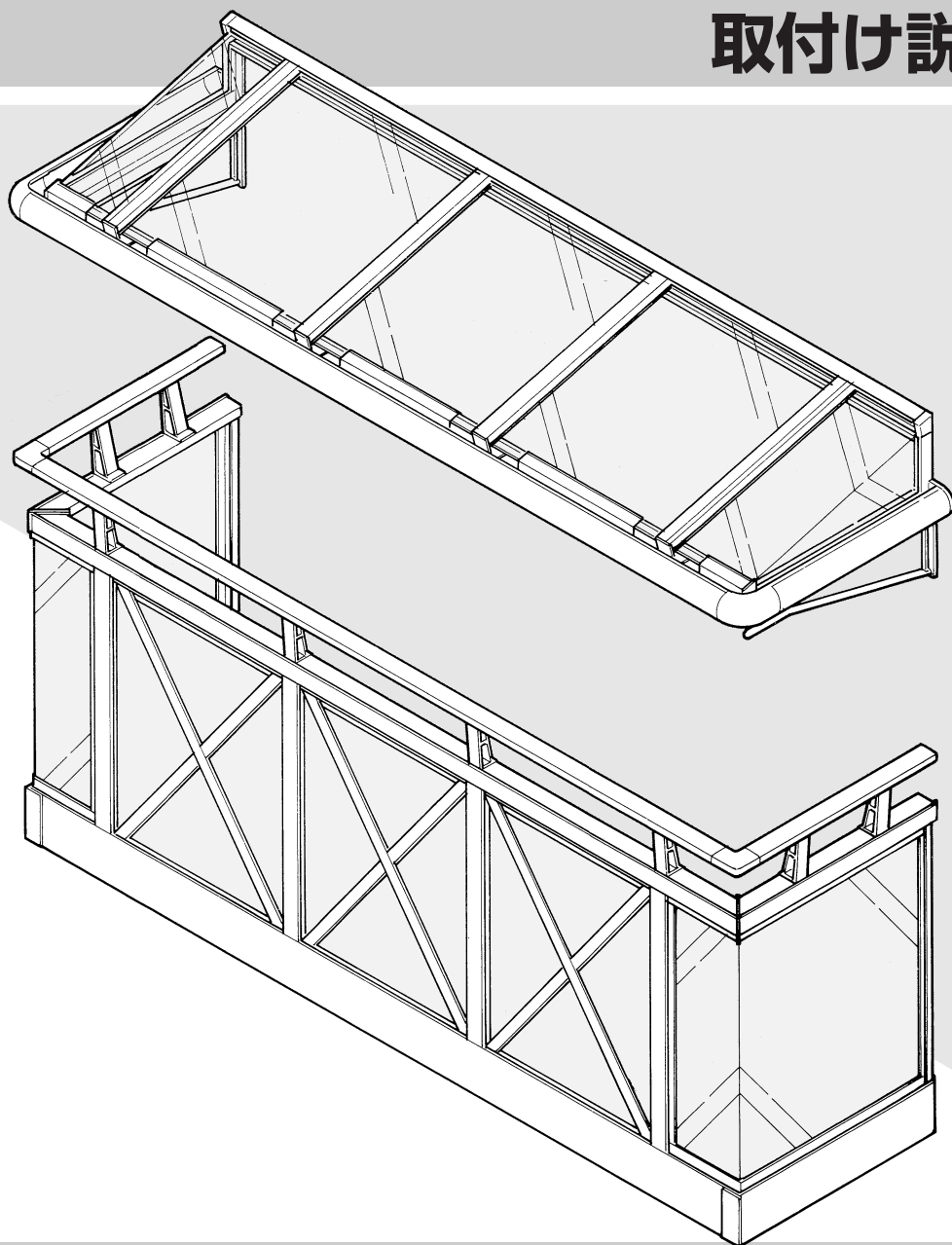




パラソルーフ

標準仕様

取付け説明書



INDEX

■施工上のご注意とお願い	2
■施工手順	3
■取付け手順〔標準タイプ〕	4～11
①ブラケットの取付け	4
②前枠の取付け	4・5
③妻梁の取付け	5・6
④垂木掛の取付け	6
⑤垂木の取付け	6
⑥屋根パネルの取付け	7～9
⑦前枠アタッチの取付け	9・10
⑧縦樋セット	10・11
■取付け手順〔連棟タイプ〕	12～14
①部材の切詰	12
②連棟用ブラケットの取付け	12
③前枠・妻梁・壁付け枠の取付け	12～14
④垂木掛けの取付け	14
⑤連棟部の垂木・屋根パネルの取付け	14
■取付け手順〔後付けタイプ〕	15～19
■テラス本体の組立て	15・16
■バルコニーへの接続	17～19
■テラス柱の取付け	19
■姿図	20
■基本図	21・22

施工上のご注意とお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。



注意

…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工される方へのお願い



注意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。
- 本製品は木造住宅の2階以下に取り付ける設計となっております。3階以上の高所には取り付けないでください。
- 以下の性能に対応した地域に設置してください。
特殊地域用1200形→積雪40cm以下
- 他社商品（バルコニー等）と組み合わせて設置しないでください。
- 崖つぶちなどの高低差のある場所には設置しないでください。
- 柱なしタイプは先付け仕様のみ可能です。後付け仕様の場合必ず柱を建ててください。

■躯体への固定

- 躯体に取り付けずに独立で取り付けることは絶対にしないでください。
- プラグ類を使用してモルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- タッピンねじの下穴は指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立ねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又使用中緩まないように締め付けてください。

■施工時の足場について

- 施工時は転落などの危険が無いように足場を設けてください。

■絶縁処理について

- アルミ形材が垂鉛ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。

■基礎について

- 後付け仕様の場合、柱基礎の施工はP19を参照し行ってください。

■パネルについて

- 屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。

■施工上について

- 母屋の構造材が入っている場所へ取り付けてください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 水平垂直は正確に測ってください。直角が出ていないと施工に支障がでるおそれがあります。
- 当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
- 取付けは専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- ※漏水のおそれがありますので下記事項をお守りください。
- シーリング指定個所には必ずシーリング材を充て込んでください。

●お願い

妻梁に付いている「取扱い説明書」を御施主に必ずお渡しください。

■お施主様へのお願い（この文章はお施主様から問い合わせの際、活用してください。取扱い説明書と同文です）



注意

- 屋根には絶対にのらないでください。転落するおそれがあります。
 - 屋根の上に物をのせないでください。製品が破損し物が落下するおそれがあります。
 - 下記の積雪量を超える前に雪おろしをしてください。製品破損による被害のおそれがあります。
雪の重さは雪の状態により大きく変化します。特に春先の雪は重く降雨や湿雪の後などは新雪に比べ3倍位の重さになります。
- ※積雪量1cmあたり3kg/m²（比重0.3）で算出しています。
（雪降ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。）
特殊地域用1200形→積雪40cm以下

●お願い

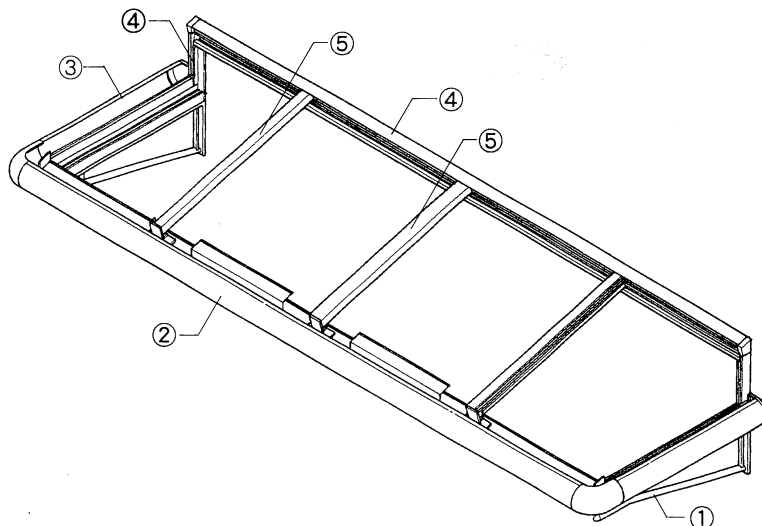
- 当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
- ボルト・ナット・ねじ等は絶対にゆるめないでください。
- 雪降ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり傷つく原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行ってください。

施工手順

■施工手順

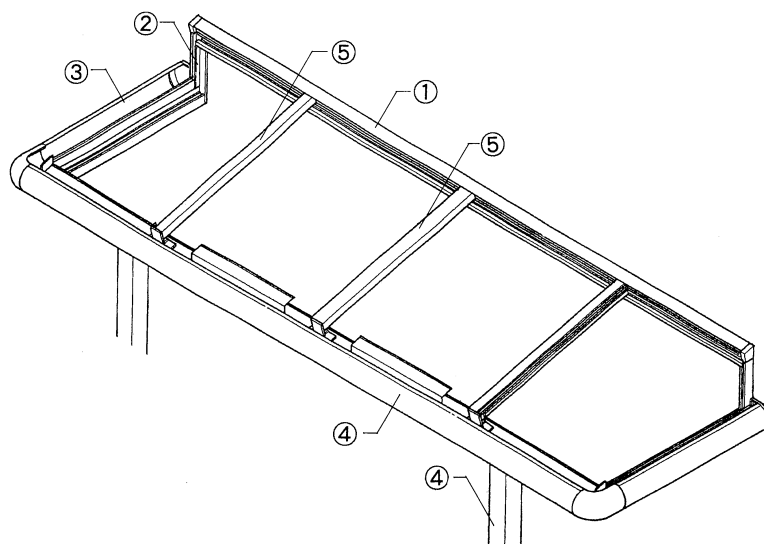
〈先付け仕様〉

- 1 ブラケットの取付け
- ↓
- 2 前枠の取付け
- ↓
- 3 妻梁の取付け
- ↓
- 4 壁付け枠・垂木掛けの取付け
- ↓
- 5 垂木の取付け
- ↓
- 6 屋根パネルの取付け



〈後付け仕様〉

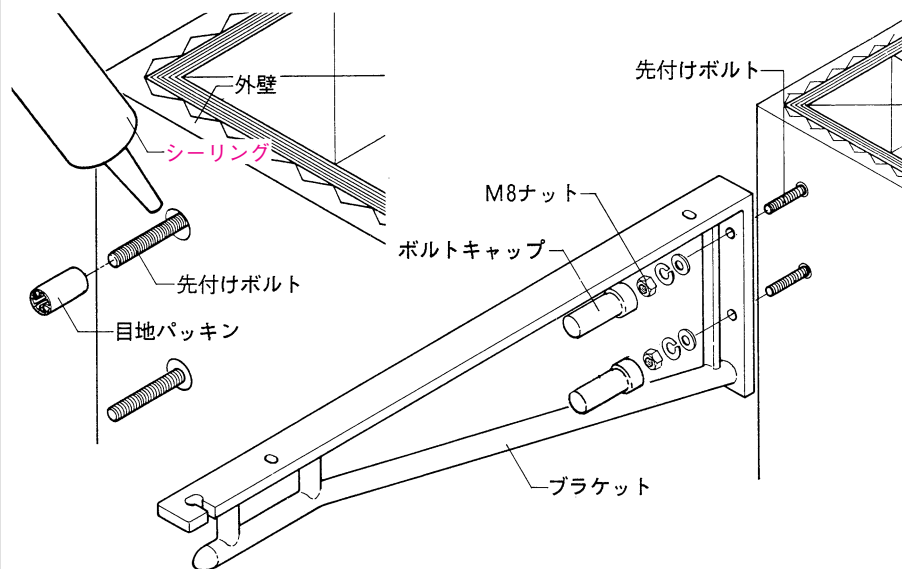
- 1 垂木掛けの取付け
- ↓
- 2 壁付け枠の取付け
- ↓
- 3 妻梁の取付け
- ↓
- 4 前枠・柱の取付け
- ↓
- 5 端部垂木・中間垂木の取付け
- ↓
- 6 屋根パネルの取付け



取付け手順〔標準タイプ〕

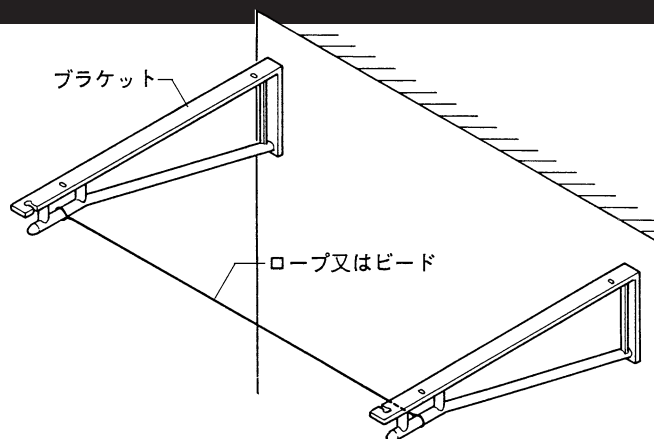
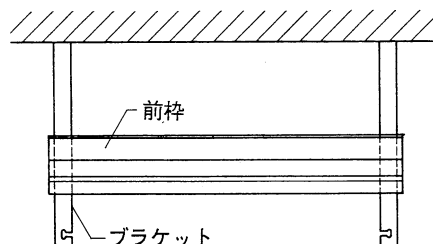
1 ブラケットの取付け

- 目地パッキンを取り除き、建築用油性コーキング材を奥まで充てんしてください。
- ブラケットは、そで壁部のある側を外側に向けて取り付けます。まず、仮止めし、水平・垂直を出してから本締めします。
- ※取付け後、水平・垂直の調整が必要な場合は、同梱のスペーサーをご使用ください。



2 前枠の取付け

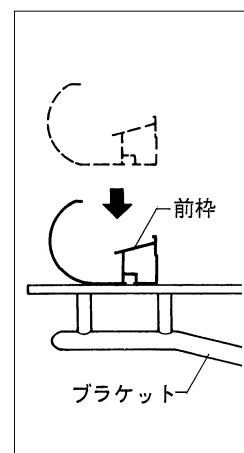
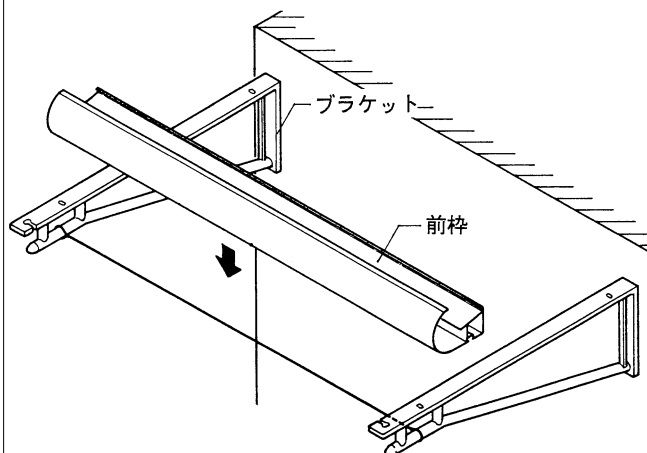
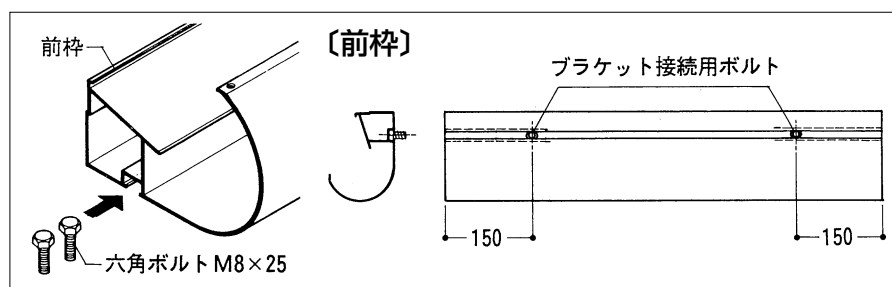
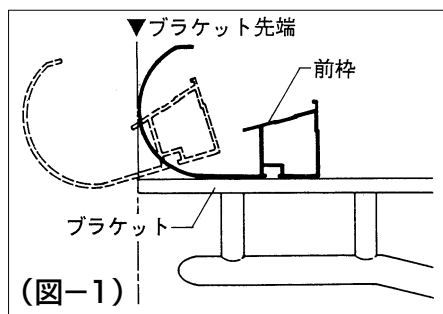
- 施工時に前枠が落下するおそれがあるため、ロープ、ビード等で左右のブラケットを結び外側に開かないようにしてください。
- 前枠下部溝に、ボルトを差し込みます。(2本)
- 前枠をブラケットにのせます。



〔ご注意〕

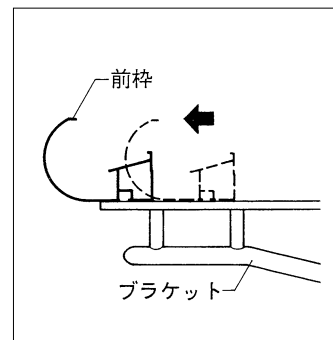
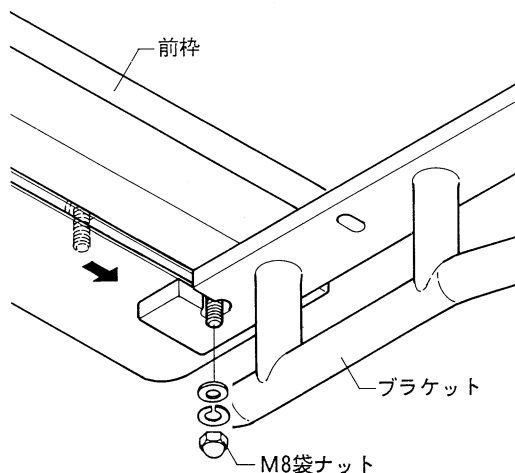
前枠が落下するおそれがありますので、必ず前枠はブラケットの先端よりも内側にのせてください。

(図-1 参照)



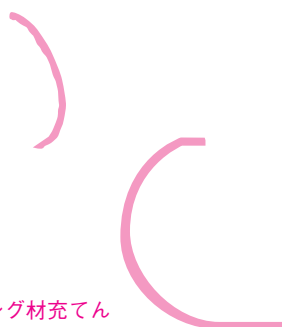
- ブラケットと前枠を、ロープ等で結びつけてください。

-
- The diagram illustrates the installation of a front beam (前枠) in two steps:
- Step 1:** The front beam is positioned and held in place by brackets (ブラケット) attached to the ceiling and temporary stops (仮止め) at the ends. A downward arrow indicates the beam is being lowered into position.
 - Step 2:** The beam is fully seated. The temporary stop (仮止め) at the right end is removed, and the beam is secured with a permanent stop (仮止め) at the bottom right corner, indicated by a downward arrow.

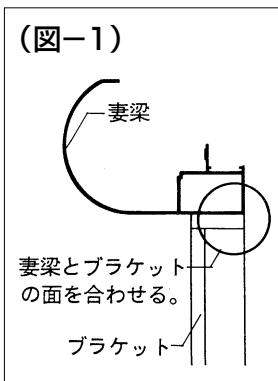
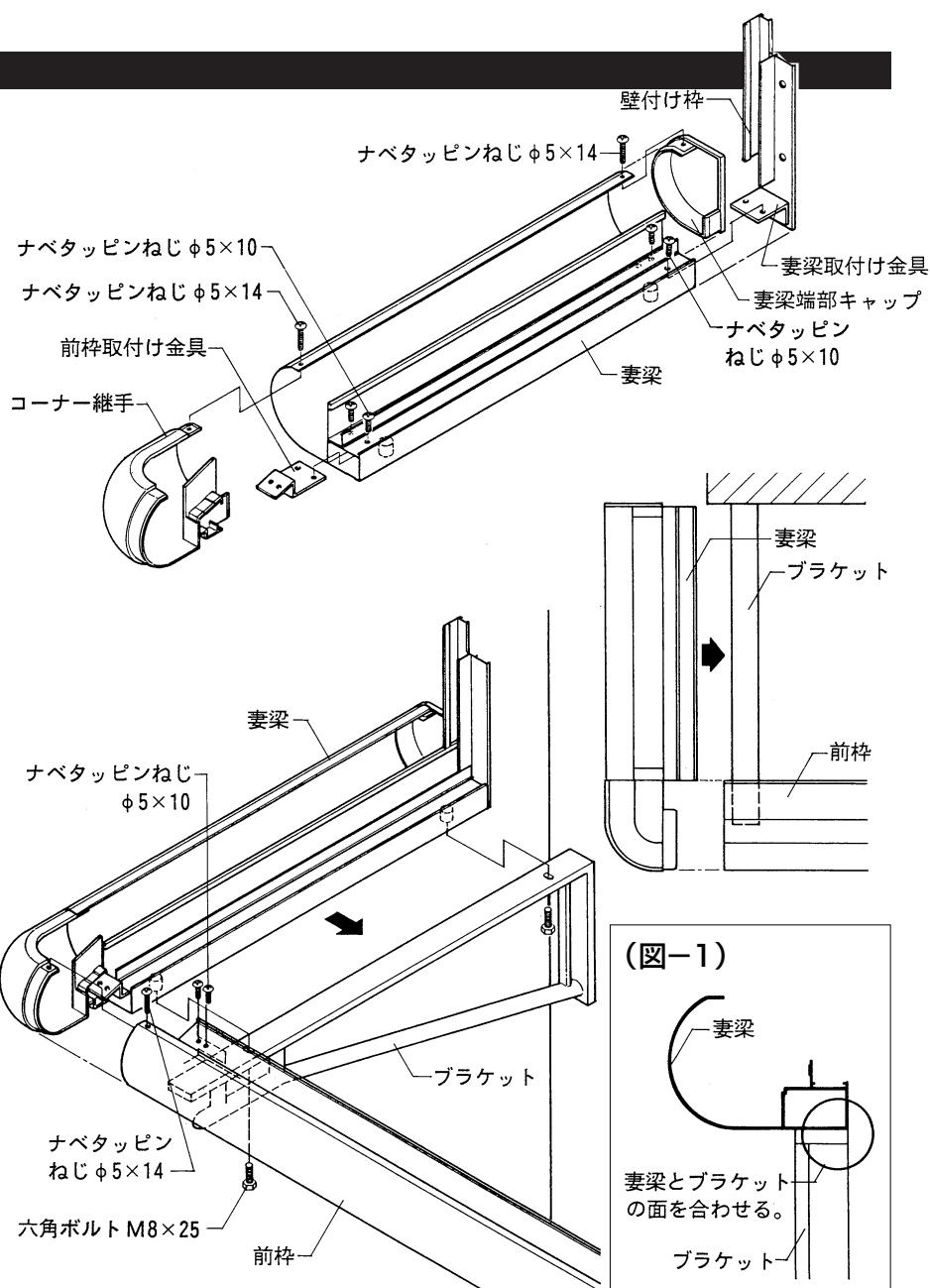


●妻梁と壁付け枠を組み立て、妻梁
躯体側に妻梁端部キャップを取り
付けます。次に前枠側に、コーナ
ー継手・前枠取付け金具を取り付
けます。

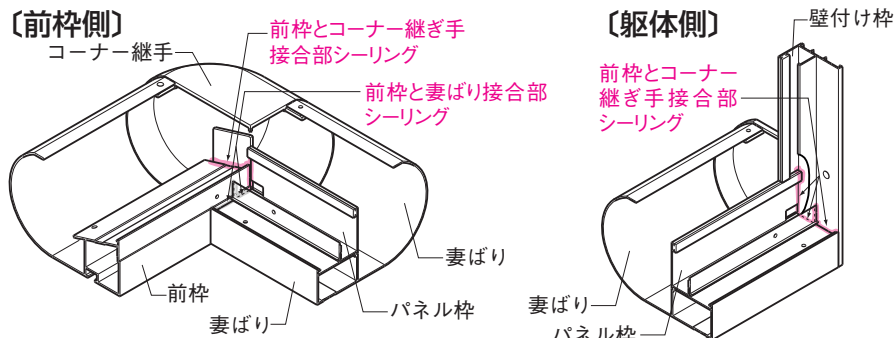
シーリング材
充てん



- ブラケットの外側から、妻梁を前
枠に接続します。ブラケットに仮
止めした後、前枠にコーナー継手・
妻梁取付け金具をねじ止めます。
- 妻梁と、ブラケットの内側を合わ
せて、本締めします。(図-1参照)
本締めが完了したら、ローブを外
してください。

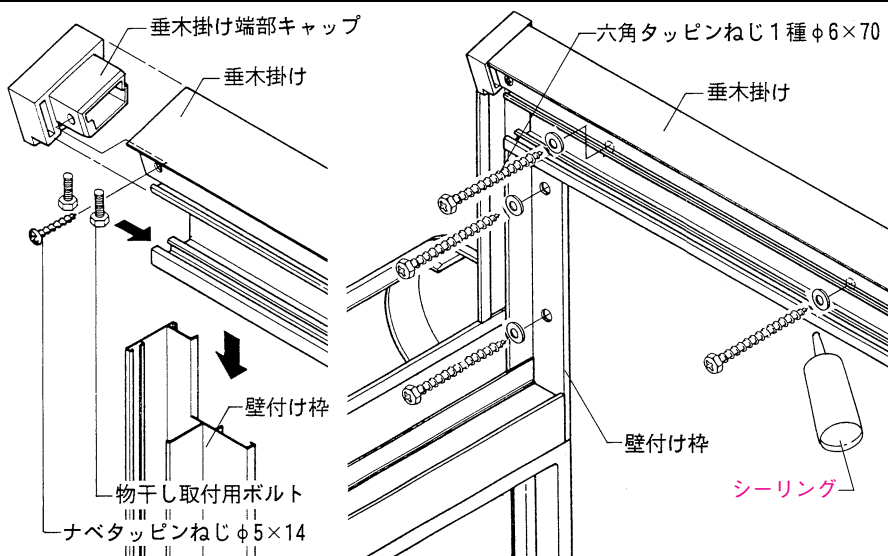


※右図に示す接合部をシーリングします。



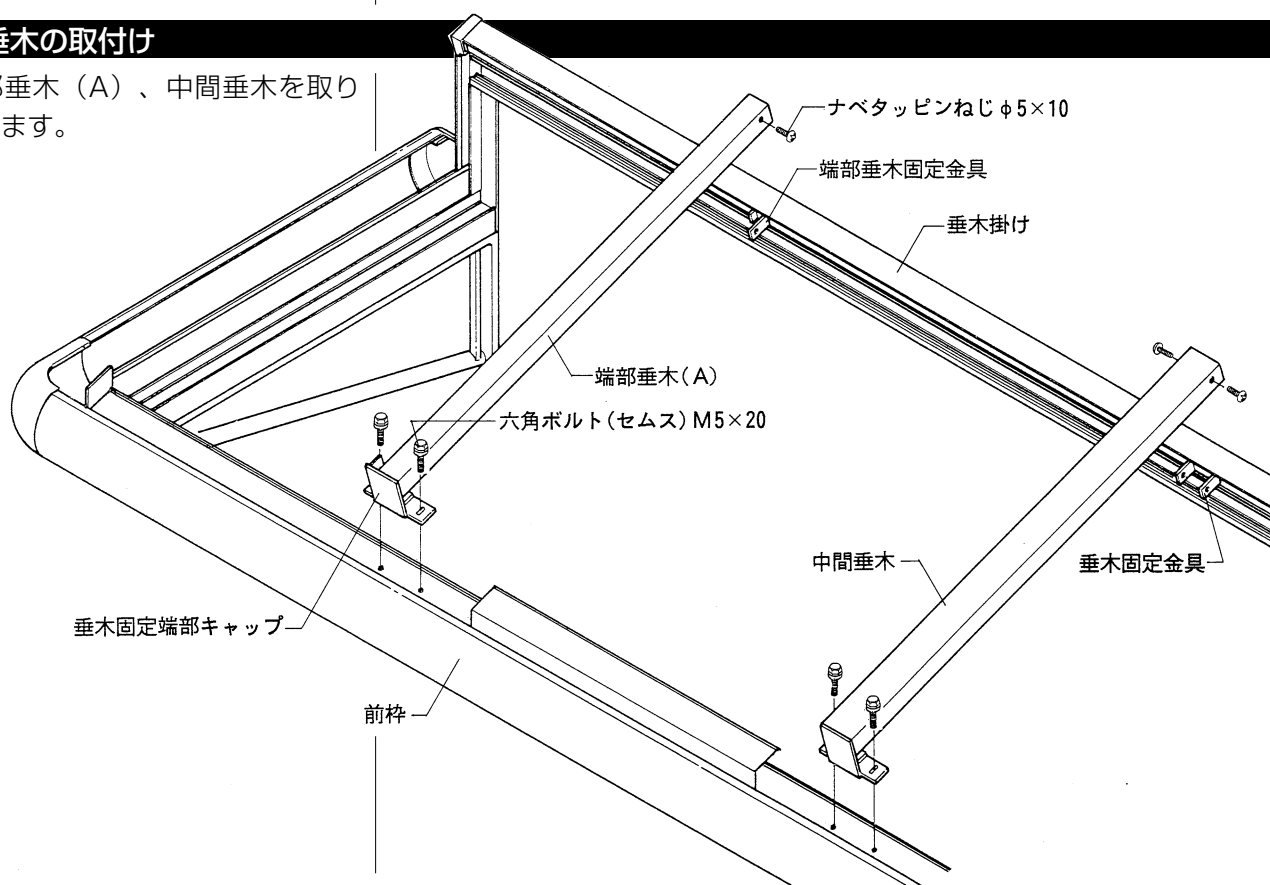
4 壁付け枠・垂木掛けの取付け

- 垂木掛け端部に、垂木掛け端部キャップを取り付け、壁付け枠にセットします。
- 壁付け枠の垂直を出し、壁付け枠、垂木掛けを躯体に固定します。（必ず躯体の柱、間柱等の構造材に取り付けてください。）
- ※オプション物干しを取り付ける場合は、物干し取付け用ボルトを、垂木掛けの溝に差し込みます。（2本）
- ※躯体取付け穴には、必ずシーリング材を充てんしてください。



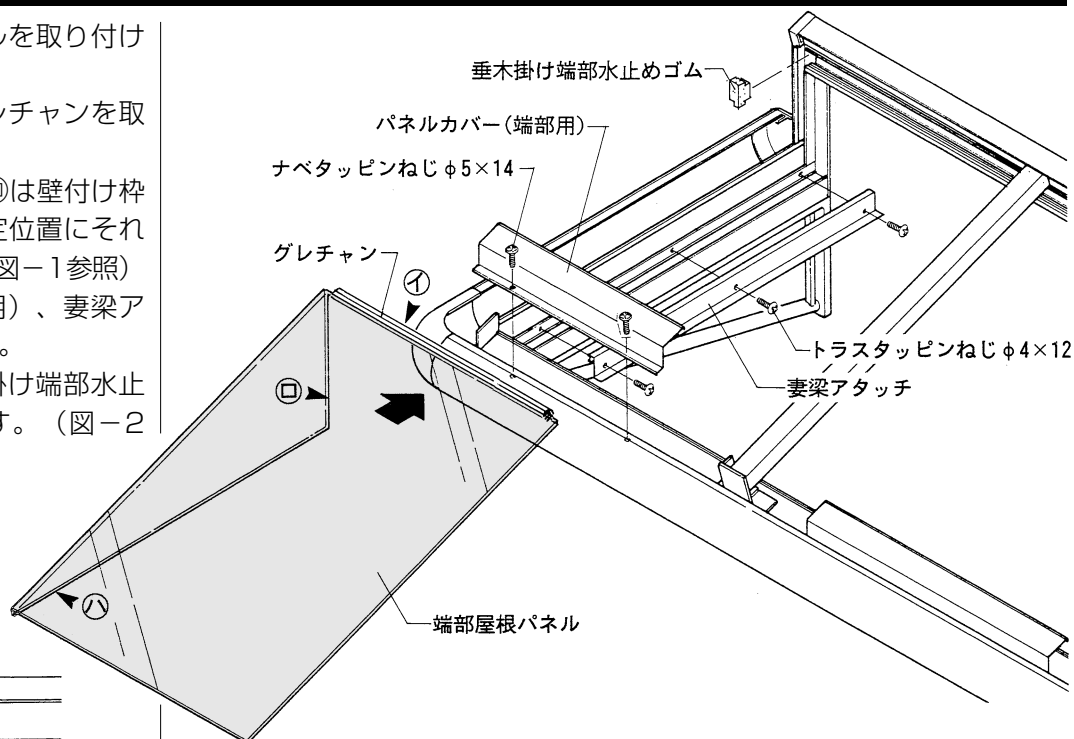
5 垂木の取付け

- 端部垂木（A）、中間垂木を取り付けます。

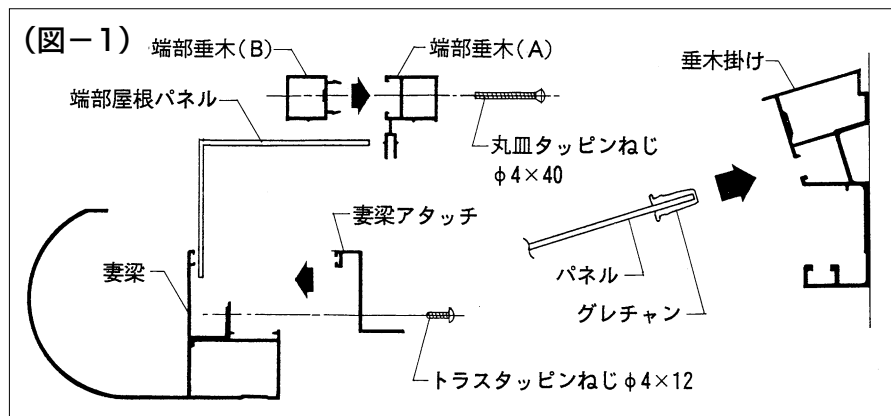
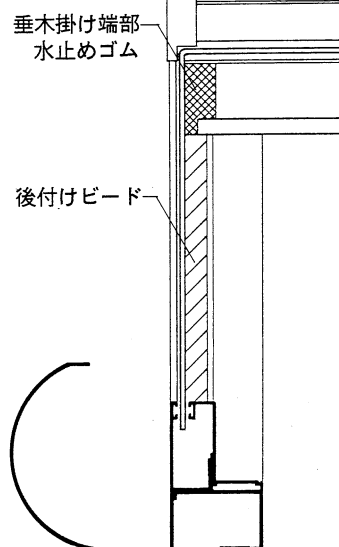


6 屋根パネルの取付け

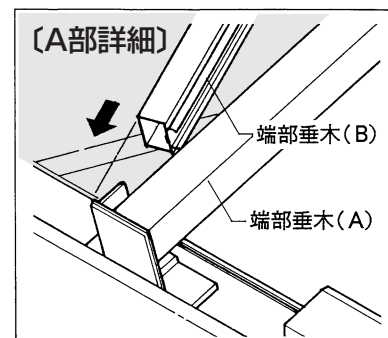
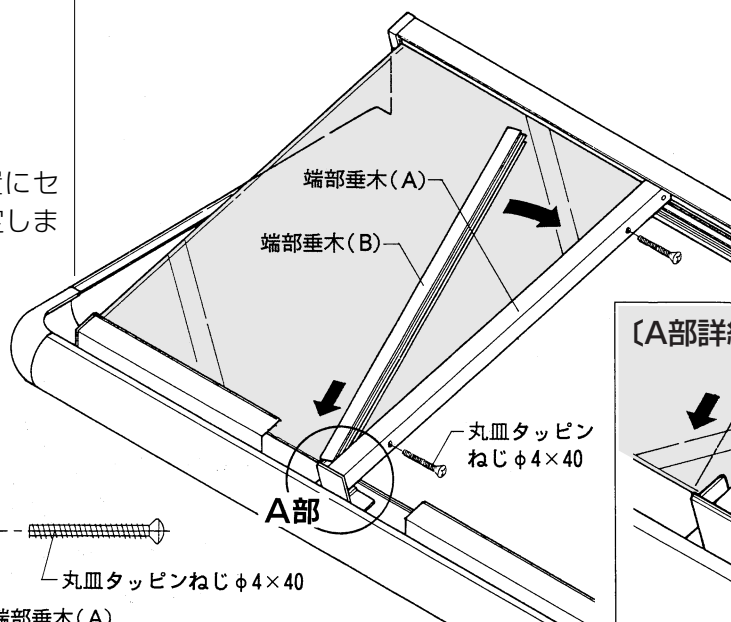
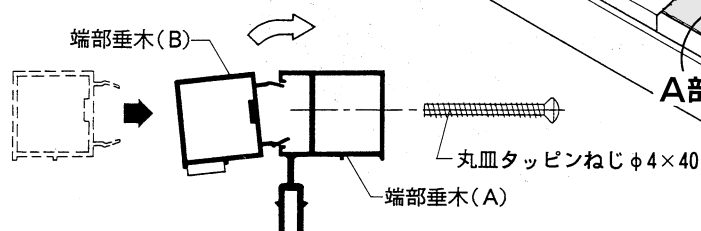
- 最初に端部屋根パネルを取り付けます。
- パネルの躯体側にグレチャンを取り付けます。
- ①は垂木掛け溝に、②は壁付け枠溝に、③は妻梁の所定位置にそれぞれセットします。(図-1参照)
- パネルカバー(端部用)、妻梁アタッチを取り付けます。
- 後付けビード、垂木掛け端部水止めゴムを取り付けます。(図-2参照)



(図-2)



- 端部垂木(B)を所定の位置にセットし、タッピンねじで固定します。

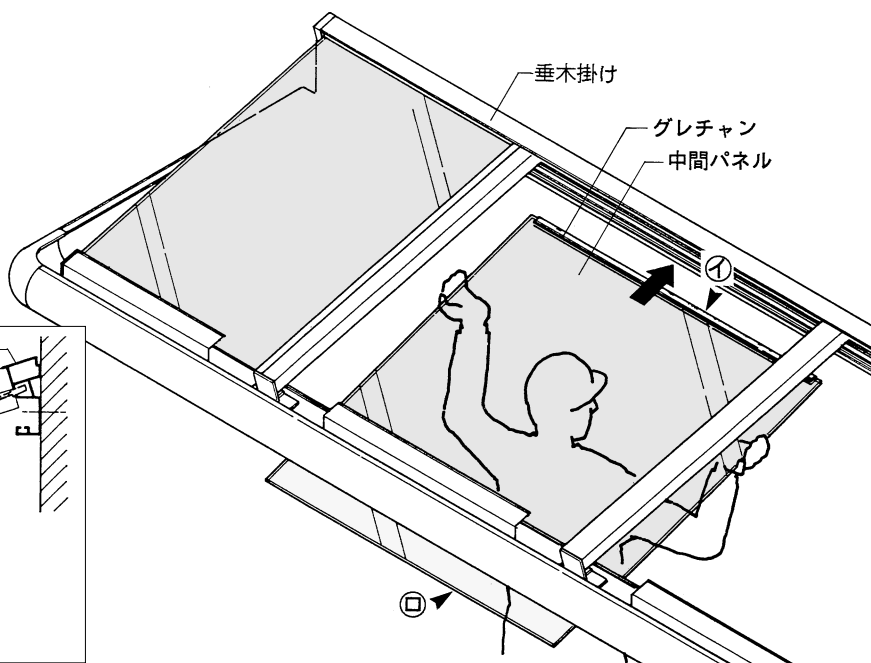
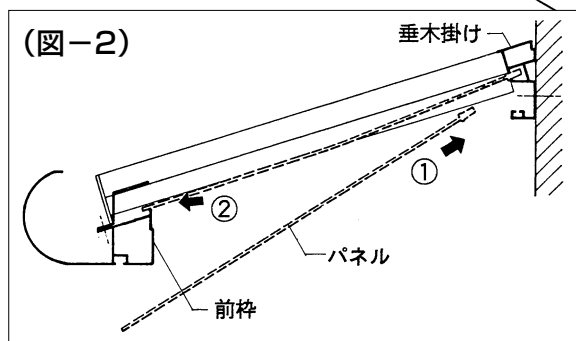
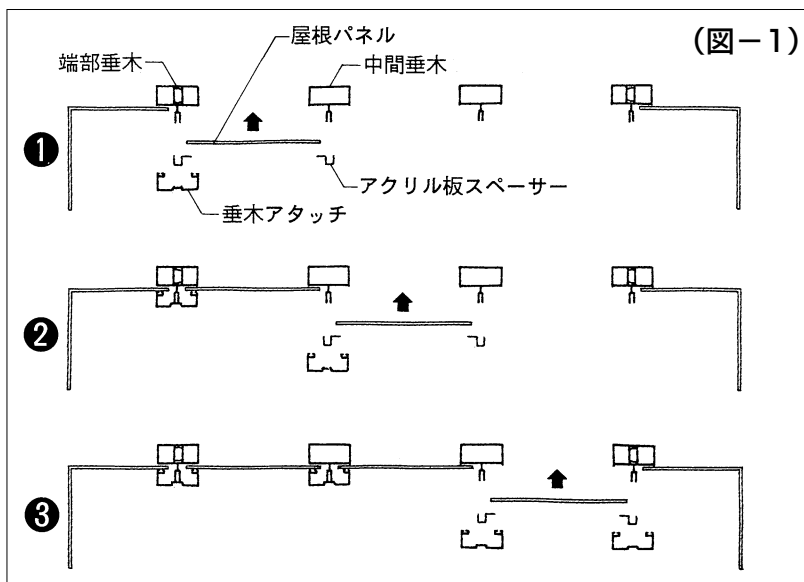


■中間屋根パネルを取り付けます。

【ご注意】

中間パネルは、必ず1スパンずつ取り付けてください（図-1参照）

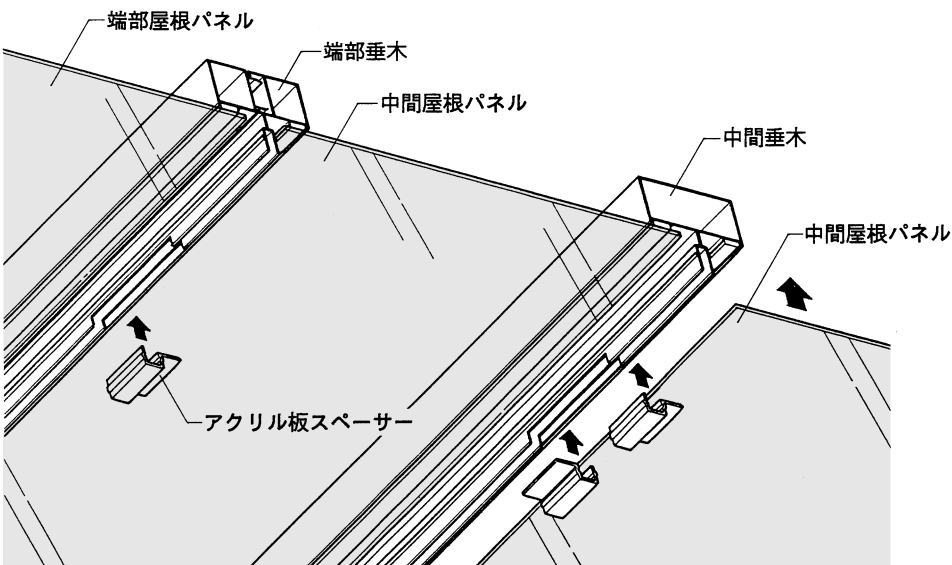
- パネルの躯体側にグレチャンを取り付けます。
- ①は垂木掛けの溝に差し込み、②はパネル自体をたわませ、前枠側にのせます。
- アクリル板スペーサーを、垂木の切欠き部に取り付けます。取付けの際、向きに注意してください。



■垂木1本当たりのアクリル板スペーサー取付け用切欠き箇所

出幅	切欠き数
2尺	無し
3尺	1箇所
4尺	2箇所

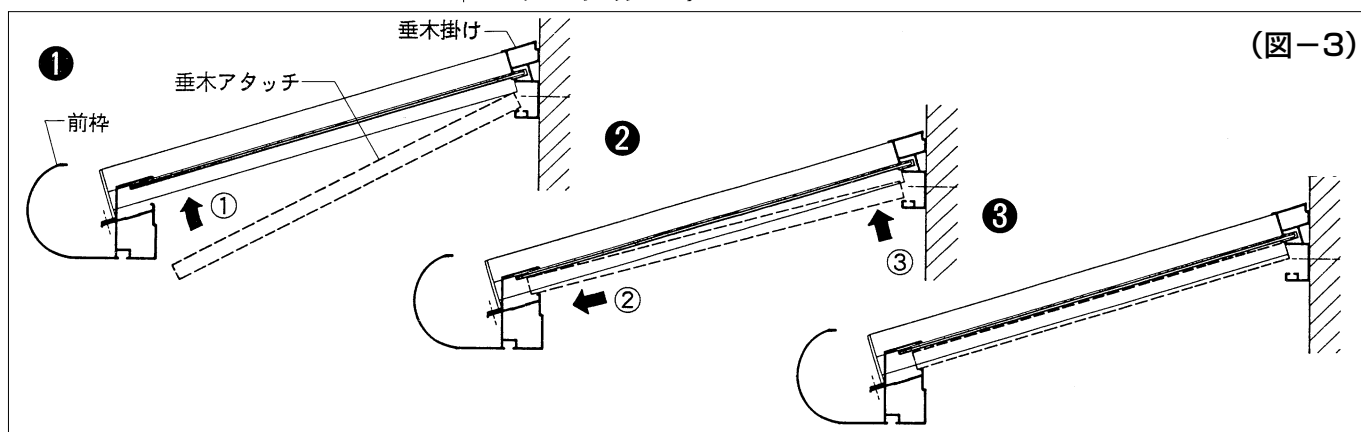
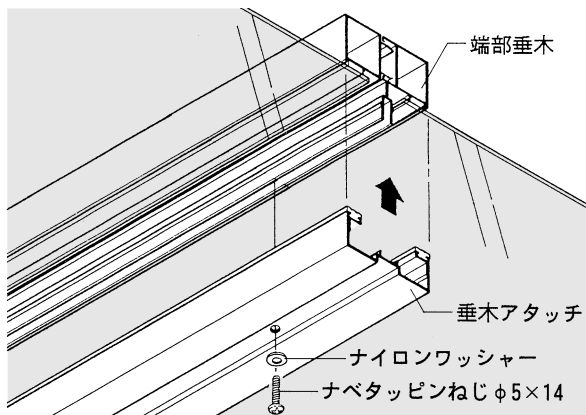
※屋根パネルは、左右のみ込み代が等しくなるようにセットしてください。



●垂木アタッチを取り付けます。
※垂木アタッチの端部を垂木掛けに
ぴったり付けた状態でねじ止めし
てください。

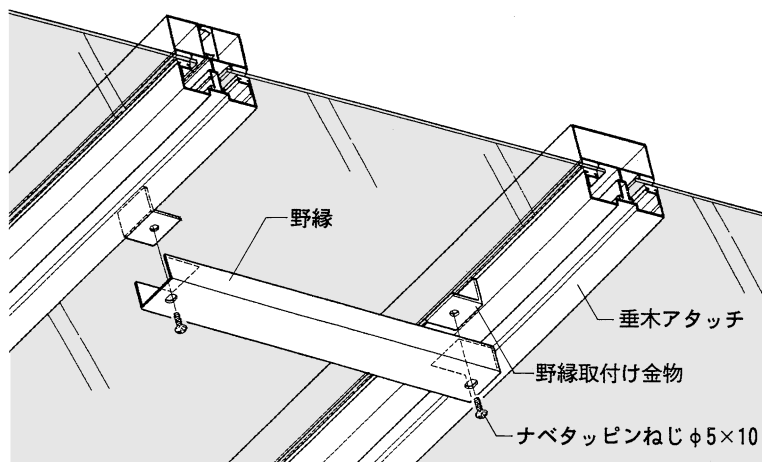
【ご注意】

必ず、垂木アタッチは、中間パネル
を1枚セットすることに取り付けて
ください。（P7図-1参照）
1枚ずつ取り付けない場合、パネル
が風にあおられて落下する危険があ



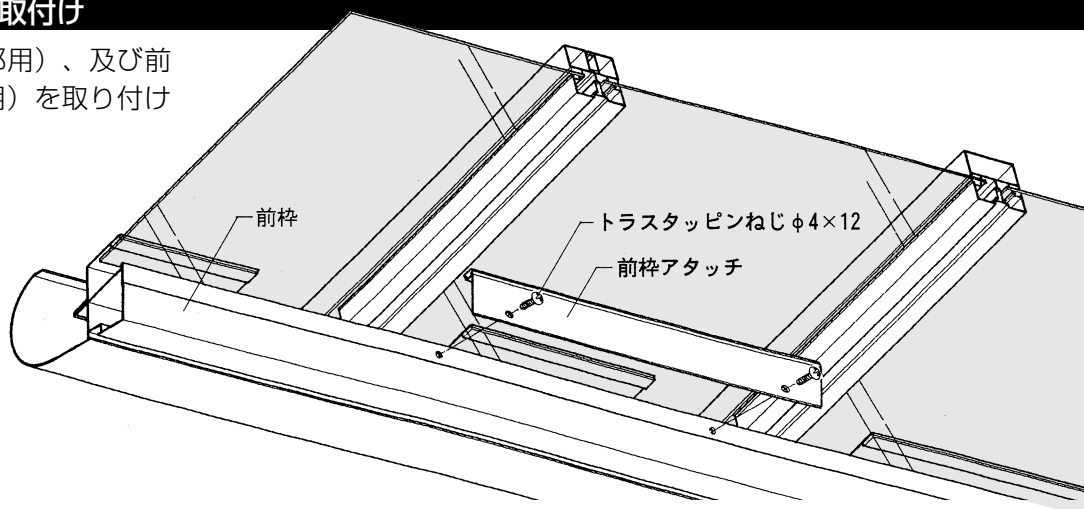
ります。
垂木アタッチは、垂木掛けのふとこ
ろ部分を利用し、（図-3）の番号
順にセットし、固定します。

●野縁を取り付けます。（出幅4尺
のみ）



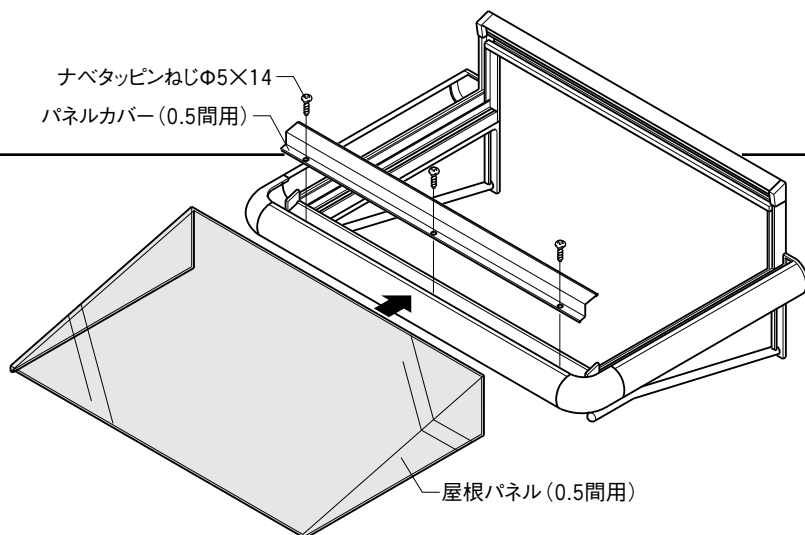
7 前枠アタッチの取付け

●前枠アタッチ（端部用）、及び前
枠アタッチ（中間用）を取り付け
ます。



■0.5間タイプの組立て

- 屋根パネル（0.5間用）を右図の要領で取り付けます。パネル以外の取付けは、標準タイプと同じです。



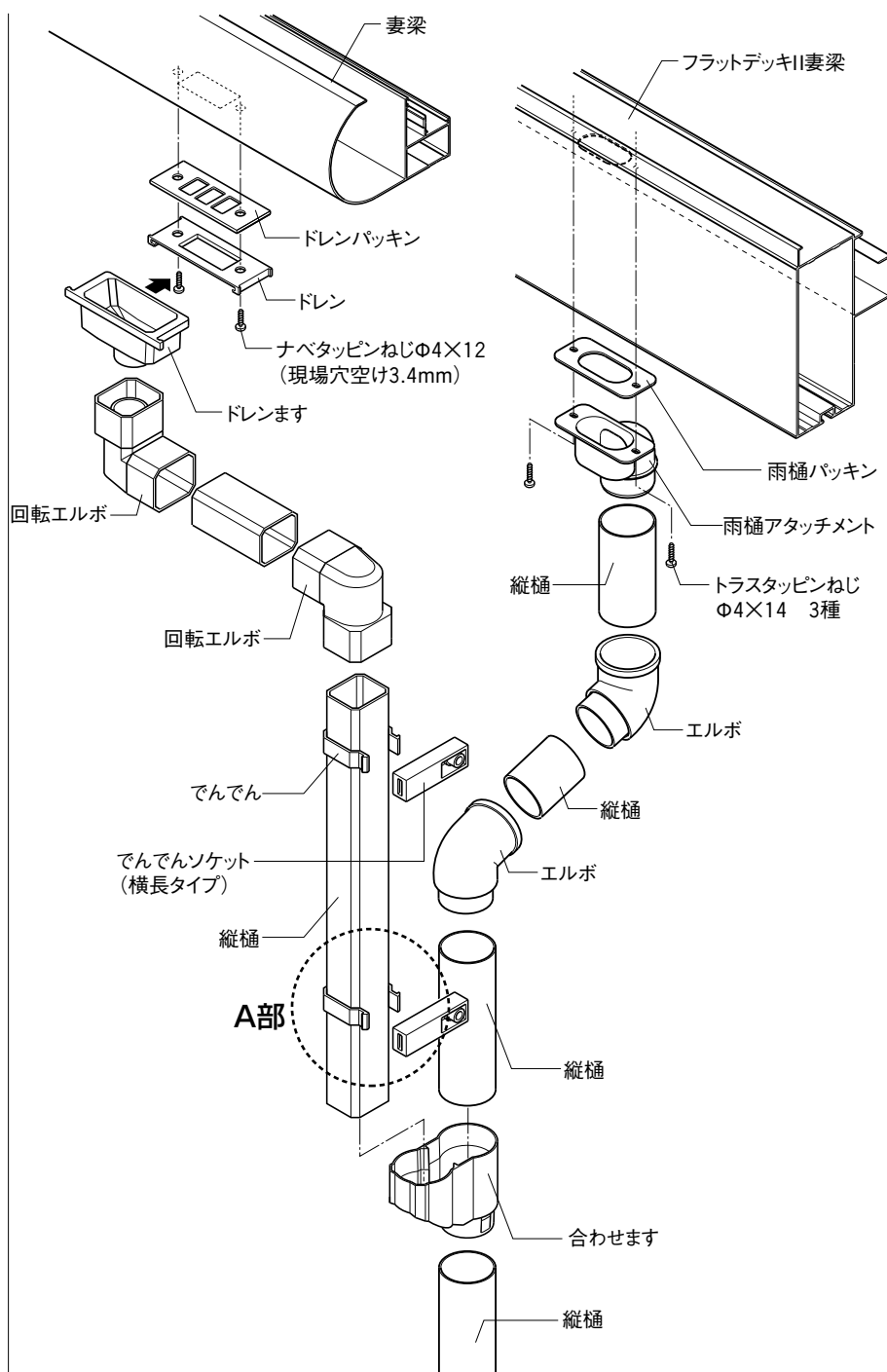
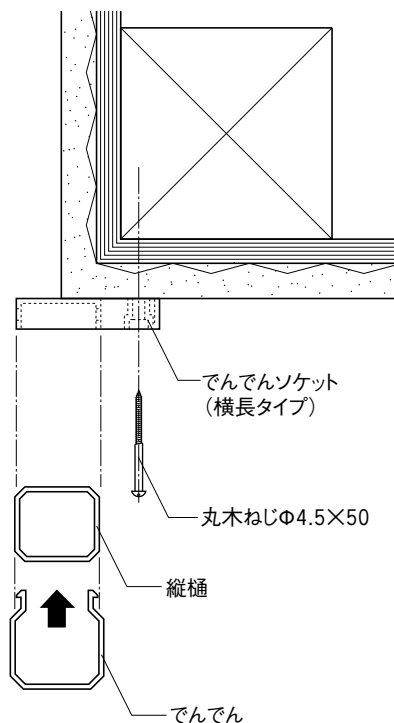
8 縦樋セット

- 妻梁の躯体側に、縦樋セット取付け用の半パンチ穴の加工がしてあります。取付け側を打ち抜きます。
- 縦樋セットを右図の要領で取り付けます。

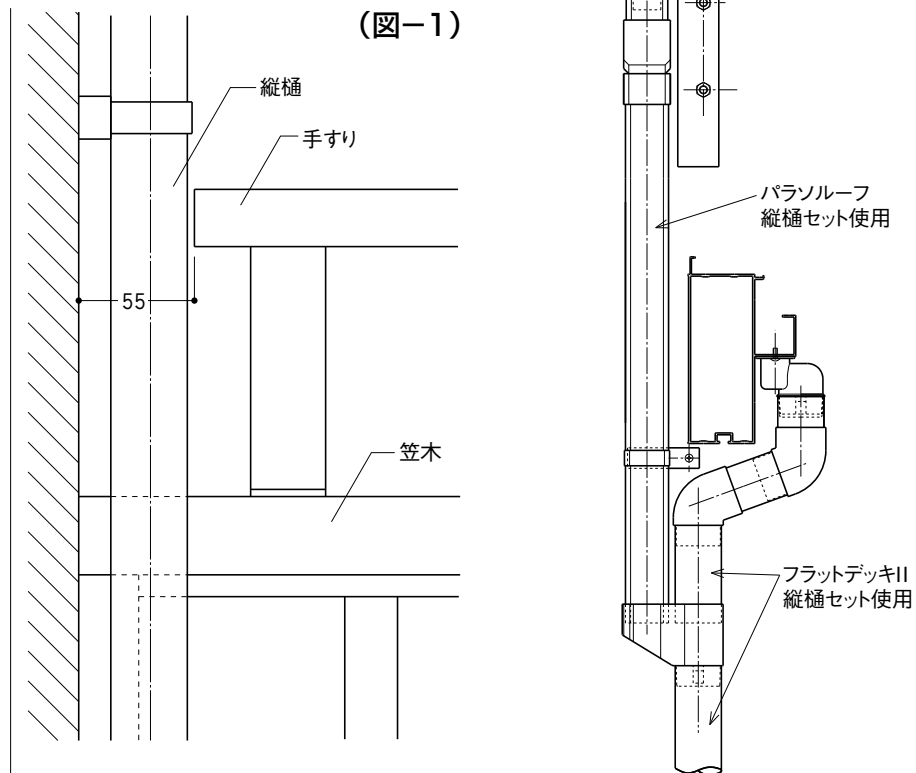
※右図はフラットデッキⅡと接続する場合を示します。

※縦樋を躯体のコーナー部に取り付ける場合、でんでんソケットは、同梱の横長タイプのもをご使用ください。（A部詳細参照）

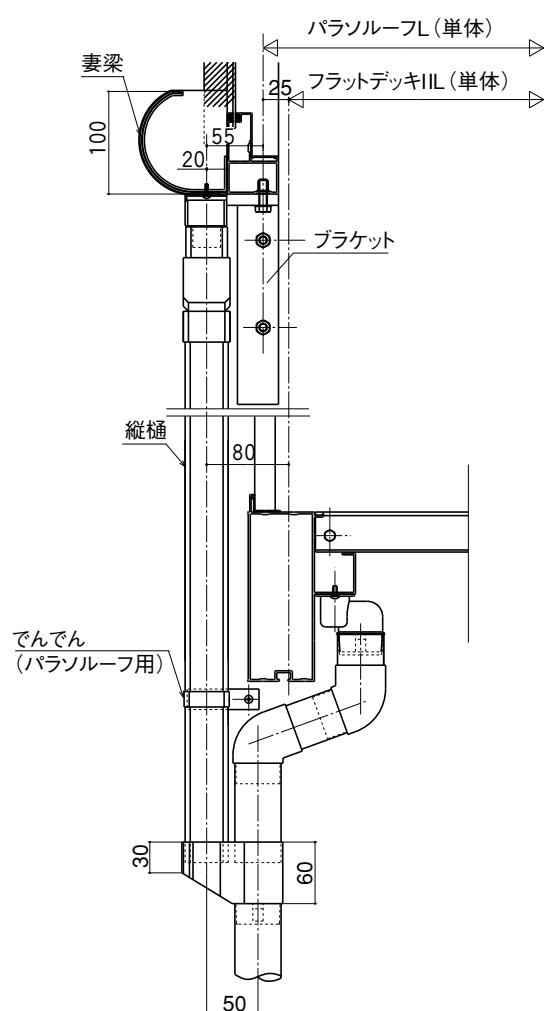
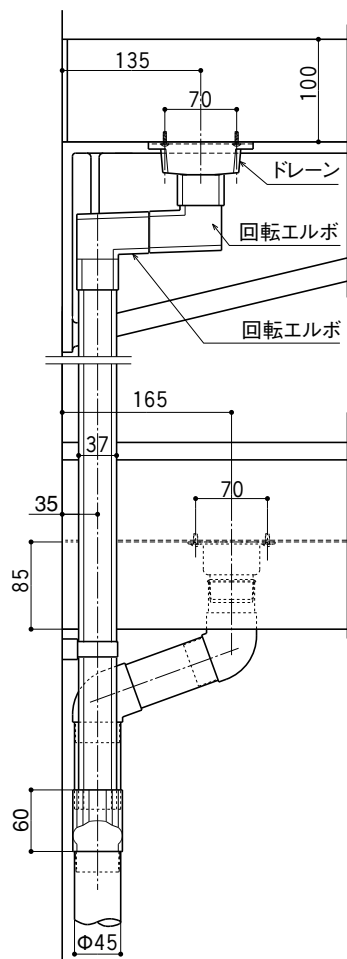
〔A部詳細図〕



※フラットデッキⅡと接続する場合は、フラットデッキⅡの妻側部手すり（駆体側）を3mm切り詰めます。（図-1参照）



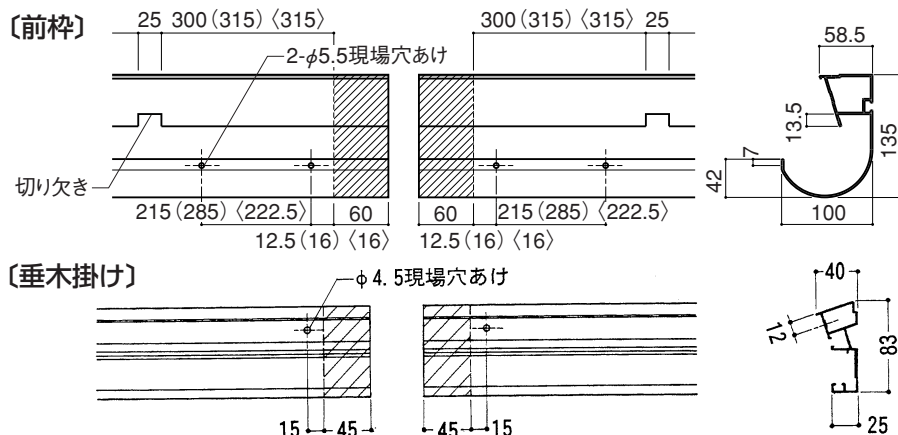
■縦樋納まり図



取付け手順〔連棟タイプ〕

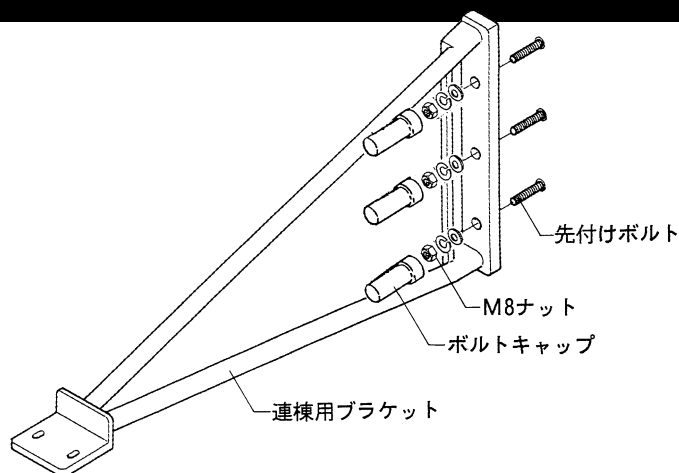
1 部材の切詰め

- 前枠、垂木掛けの連結側を右図要領で切り詰め加工してください。



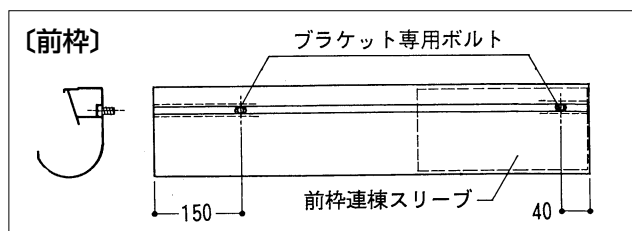
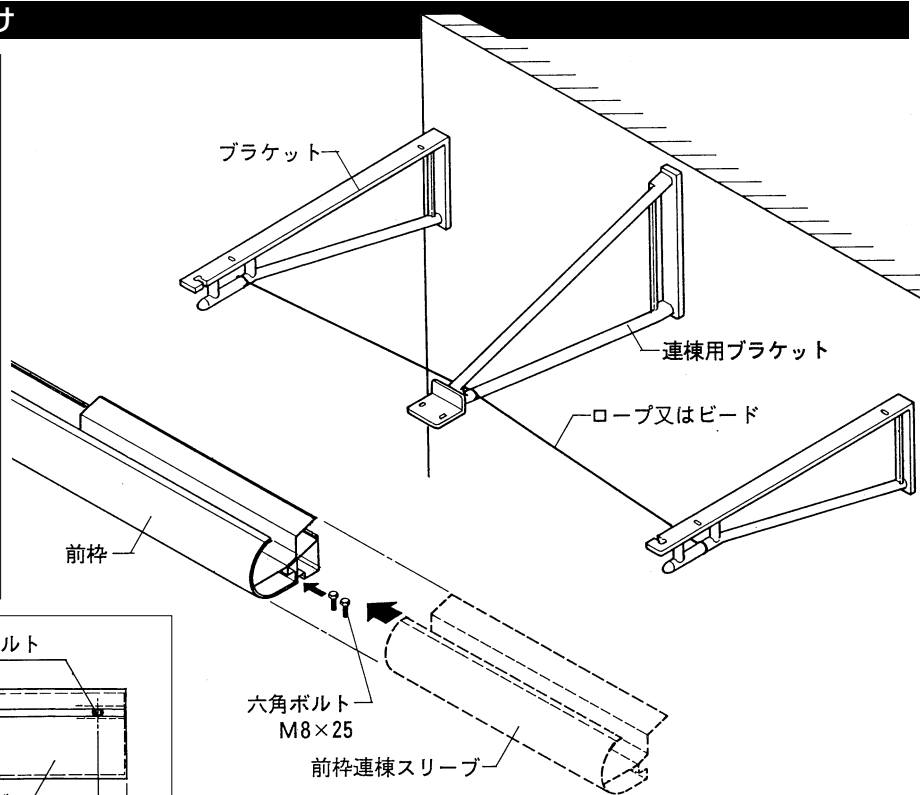
2 連棟用ブラケットの取付け

- 連棟用ブラケットを取り付けます。
取付け方法は、標準タイプブラケットに準じます。



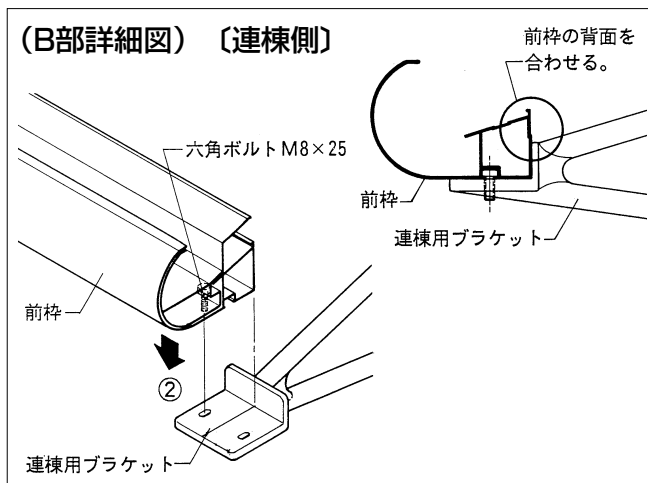
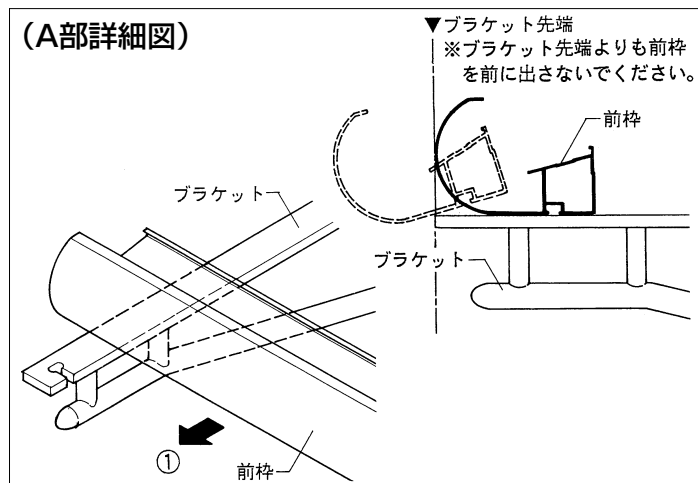
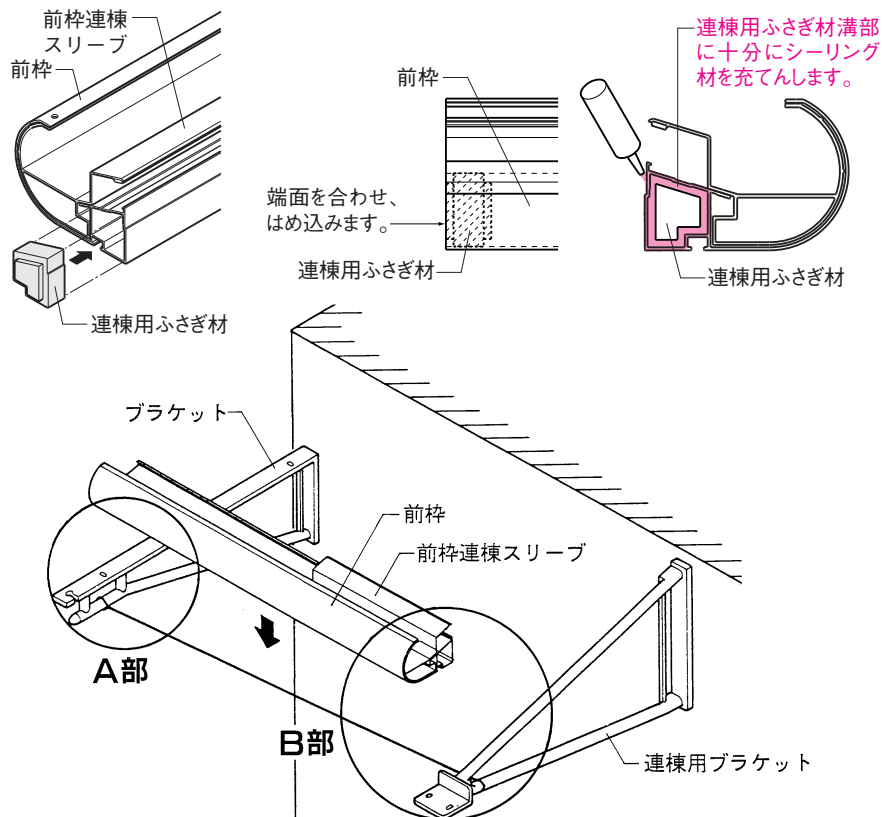
3 前枠・妻梁・壁付け枠の取付け

- ロープ、ビード等でブラケットを結び、外側に開かないようにしてください。
- 前枠下部溝にボルト（2本）を差し込みます。連棟側には、前枠連棟スリーブを部材端面よりも奥に、押し込んでおきます。

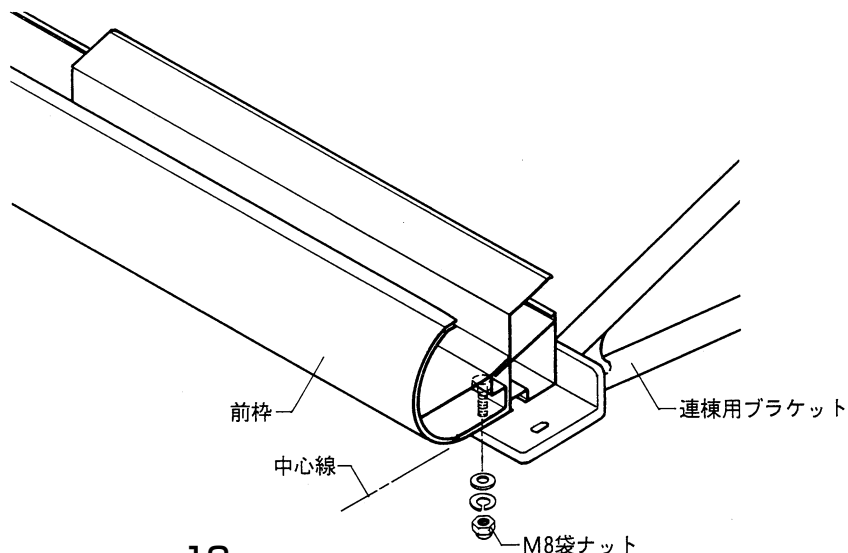


※各前枠連棟側に図にしたがい、ふさぎ材をそう入し、シーリング材を充てんします。（連結の際には前枠小口を十分密着させ、シーリングが小口全面にいきわたるようにしてください。）

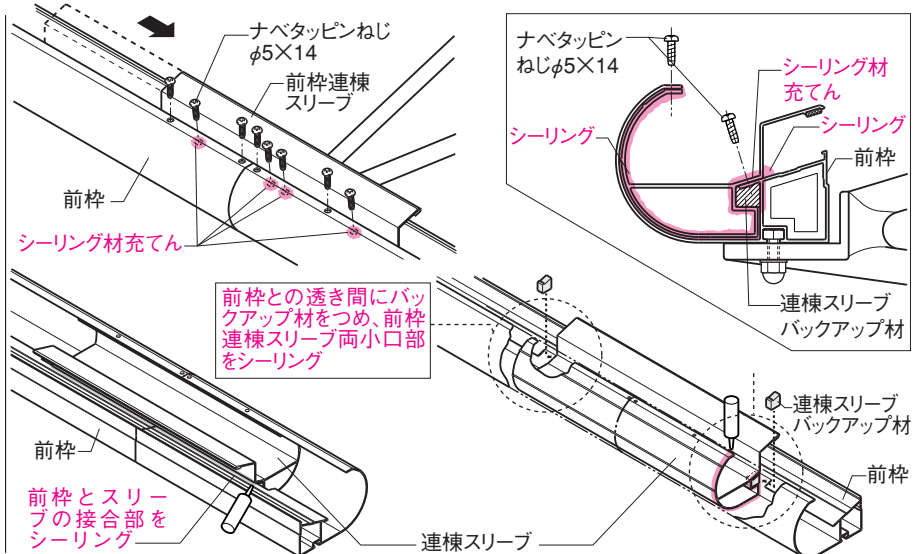
- 前枠をブラケットにのせます。まず、端部側を標準タイプと同じ方法でのせます。次に、連棟側に取り付けたボルトを、連棟用ブラケットの穴に落とし込みながらのせます。その際、前枠の背面を、ブラケット立上がり面に押しつけるようにしてください。（図-1参照）
- ブラケットと前枠を、ロープ等で、結びつけてください。



- 前枠を連棟用ブラケットの中心線に合わせて仮止めします。次に、端部側を標準タイプと同じ方法で、仮止めします。（P4参照）
- 妻梁・壁付け枠を標準タイプと同じ方法で取り付けます。
- 反対側も、同じ要領で、前枠、妻梁、壁付け枠を取り付けます。

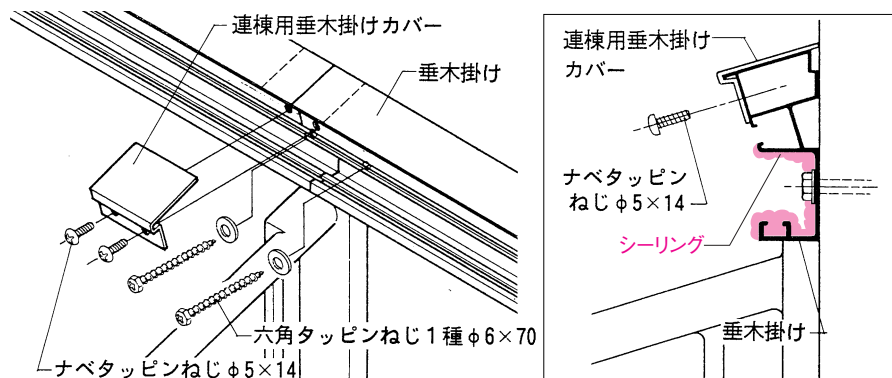


- 前枠連棟スリーブを取り付けます。
前枠の直線を出した後、前枠連棟スリーブを中央部までスライドさせ、固定します。
- すべてのボルトを本締めし、ロープを外します。
- 右図に示す部分を、十分にシーリングします。



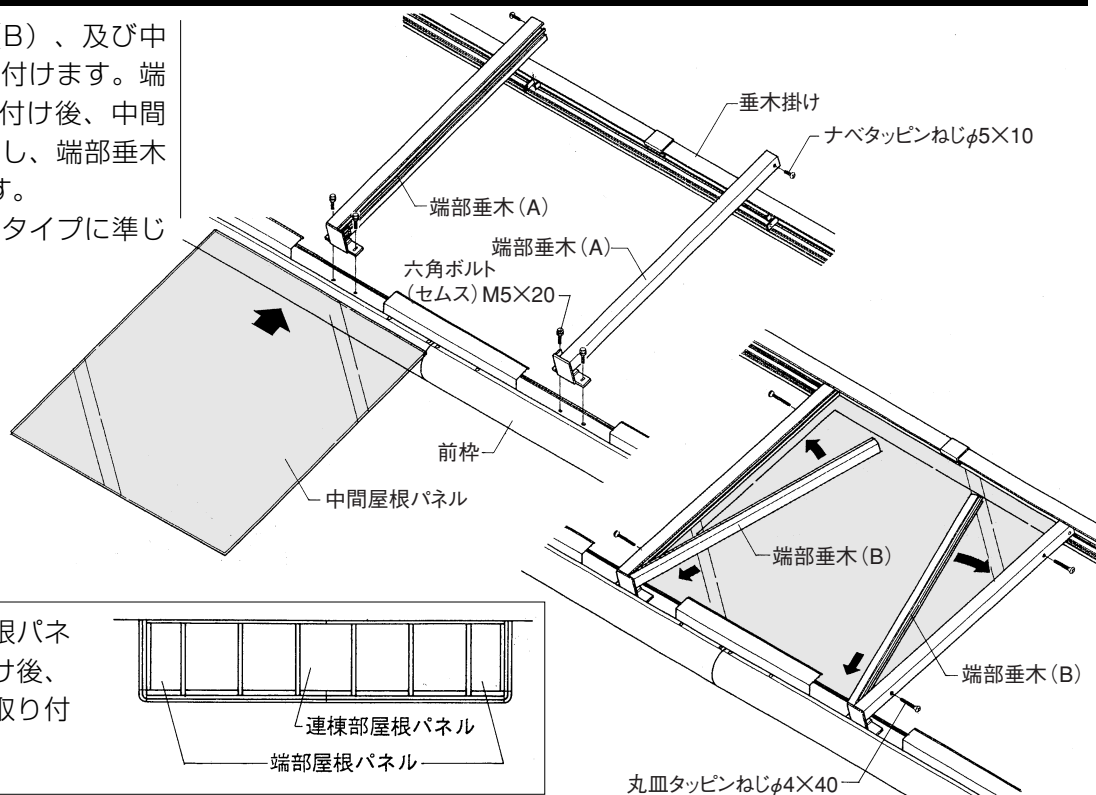
4 垂木掛けの取付け

- 壁付け枠の垂直を出し、壁付け枠・垂木掛けを躯体に固定します。端部側は、標準タイプと同じ方法で固定してください。連棟部は、垂木掛けを六角タッピンねじで躯体に固定後、接続部を連棟用垂木掛けカバーで接続します。
- ※垂木掛け接続部は、必ずシーリング材を充てんしてください。

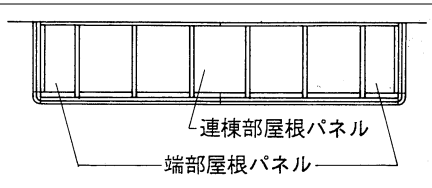


5 連棟部の垂木・屋根パネルの取付け

- 端部垂木 (A)、(B)、及び中間屋根パネルを取り付けます。端部垂木 (A) を取り付け後、中間屋根パネルをセットし、端部垂木 (B) を取り付けます。取付け方法は、標準タイプに準じます。

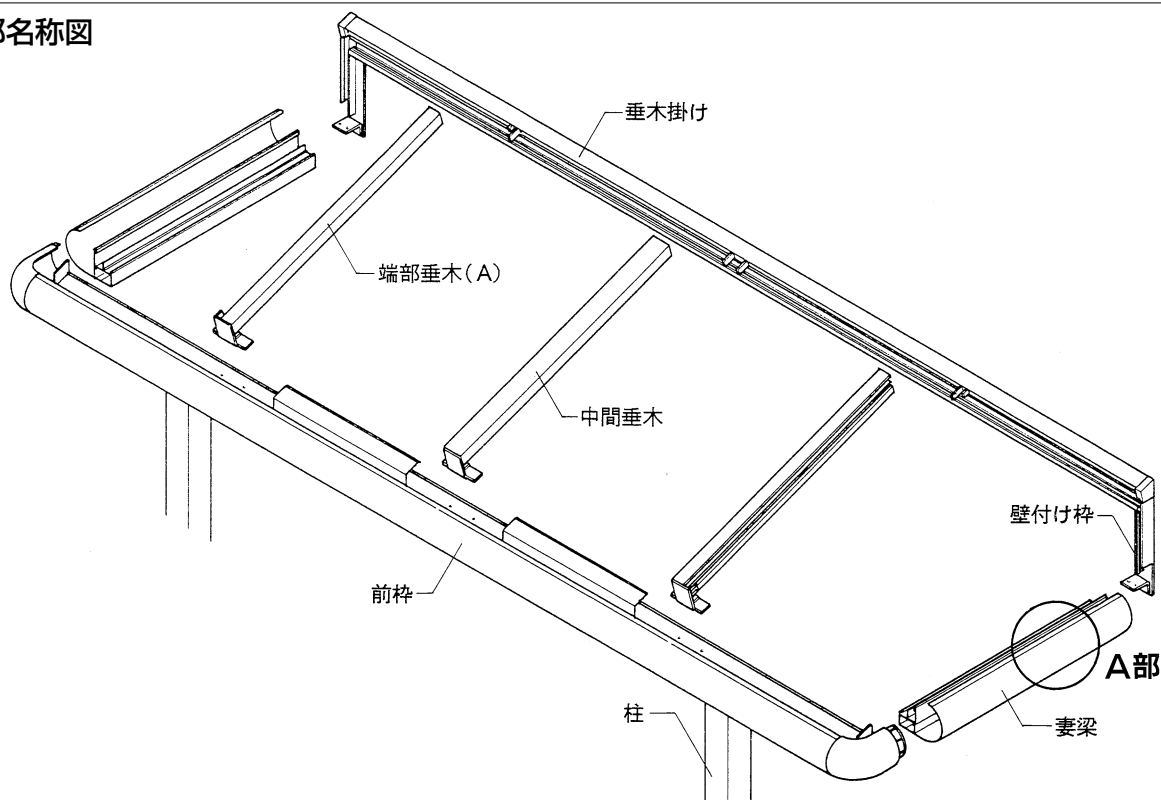


- 端部、連結部の屋根パネルの手順で取り付け後、中間屋根パネルを取り付けてください。



取付け手順〔後付けタイプ〕

■各部名称図

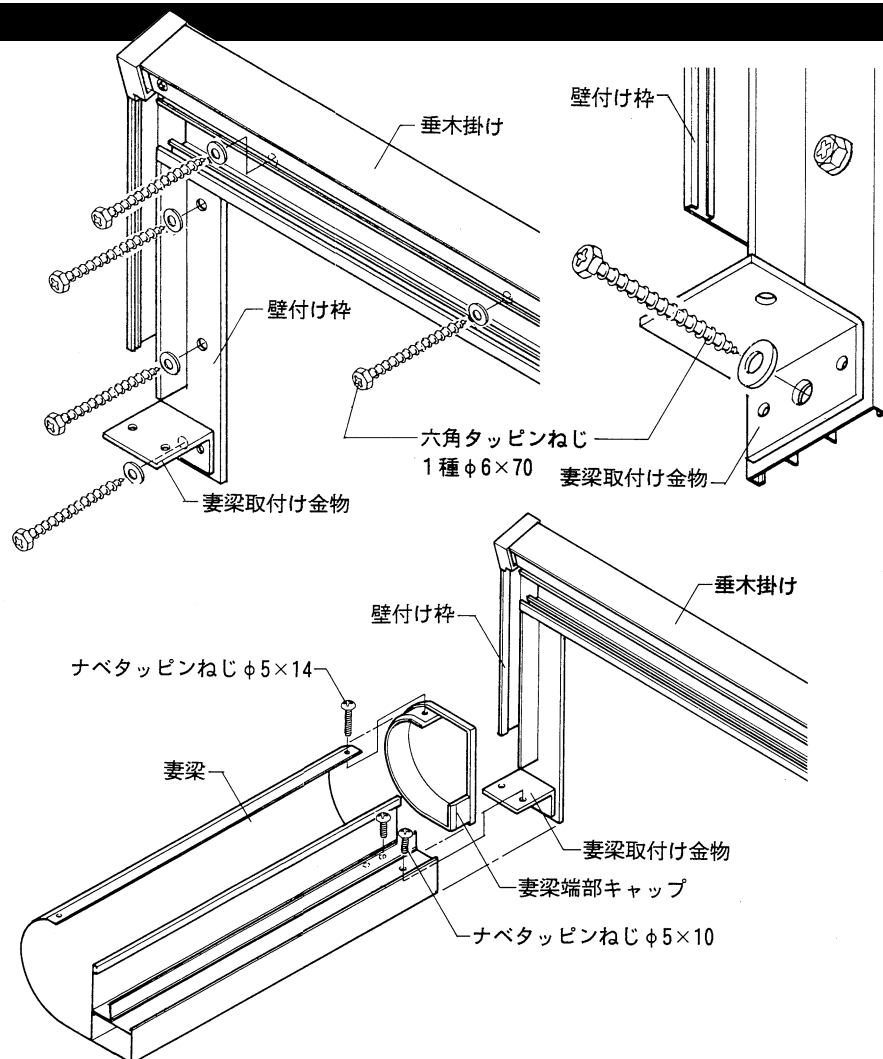


■テラス本体の組立て

各部材の組み立ては、前枠と妻梁の接続方法を除き、標準タイプと同じです。

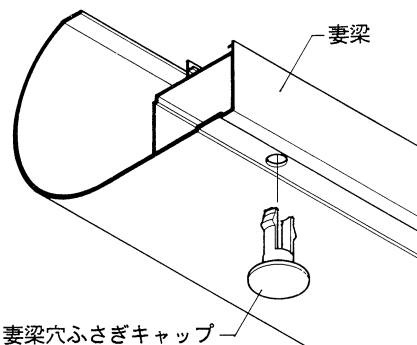
- 垂木掛けを取り付けます。
- 壁付け枠を取り付けます。後付け仕様の場合のみ、妻梁取付け金物中央部の穴を六角タッピンねじで固定します。

- 妻梁を取り付けます。
※後付け仕様の場合は、コーナー継手・前枠取付け金物を、前枠に取り付けた後、妻梁と接続します。



- 妻梁下面のブラケット取付け用穴を、妻梁穴ふさぎキャップでふさぎます。

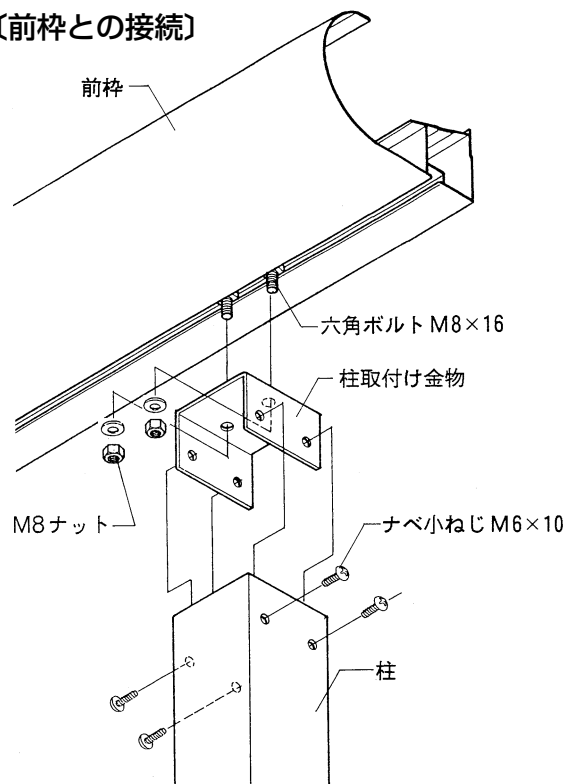
※妻梁穴ふさぎキャップは、必ずシーリング材を充てんしてください。



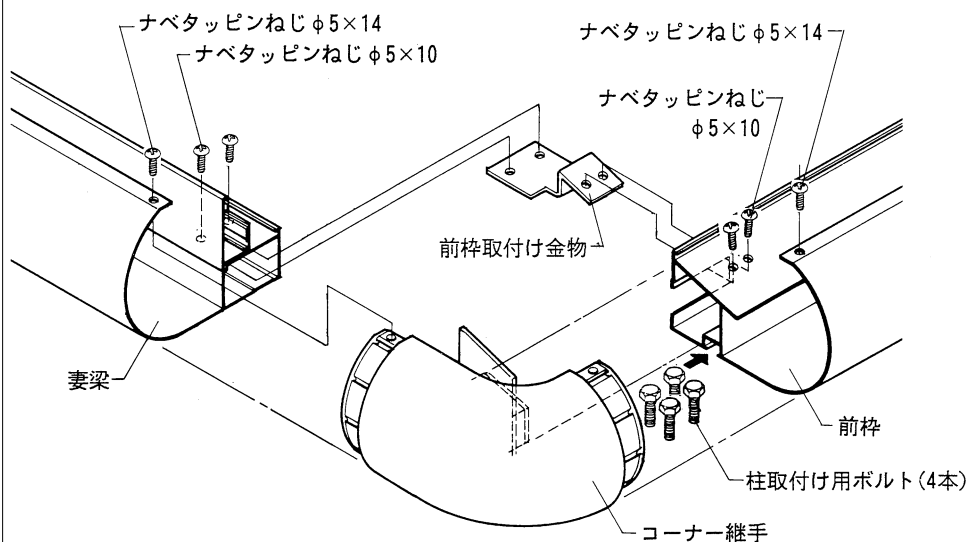
〔前枠への取付け〕

- 柱取付け金物などの専用部品を使用し、右図の要領で取付けください。

〔前枠との接続〕



- 前枠の両端部に、コーナー継手・前枠取付け金物を取り付けます。
- 柱に前枠を取り付け、前枠と妻梁を接続します。
- 垂木、屋根パネルを取り付けます。



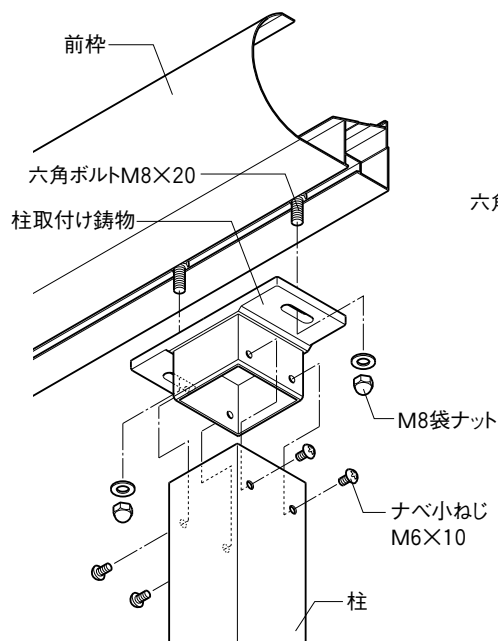
■バルコニーへの接続

取付けに当たっては、専用の部品をご使用ください。

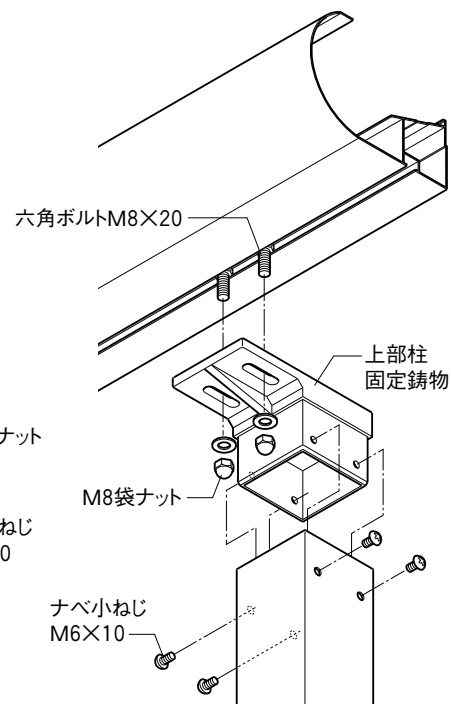
〔前枠への取付け〕

- 柱取付け鋳物などの専用部品を使用し、右図の要領で取り付けてください。

〔フラットデッキⅡの場合〕

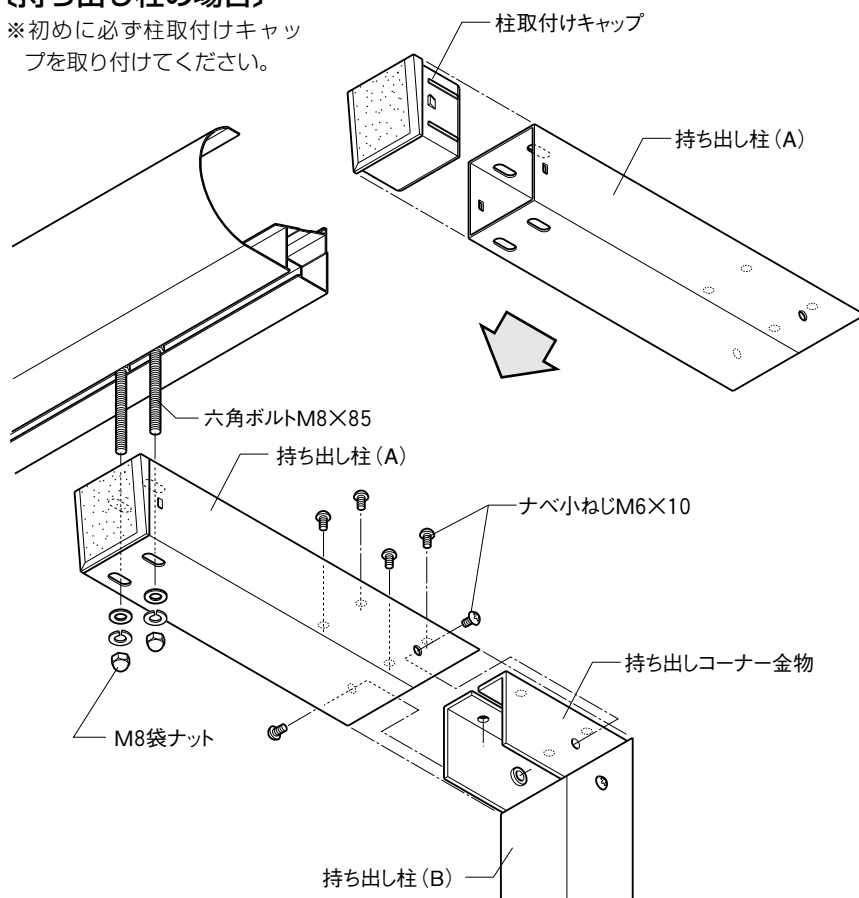


〔スタンダードデッキの場合〕



〔持ち出し柱の場合〕

※初めに必ず柱取付けキャップを取り付けてください。



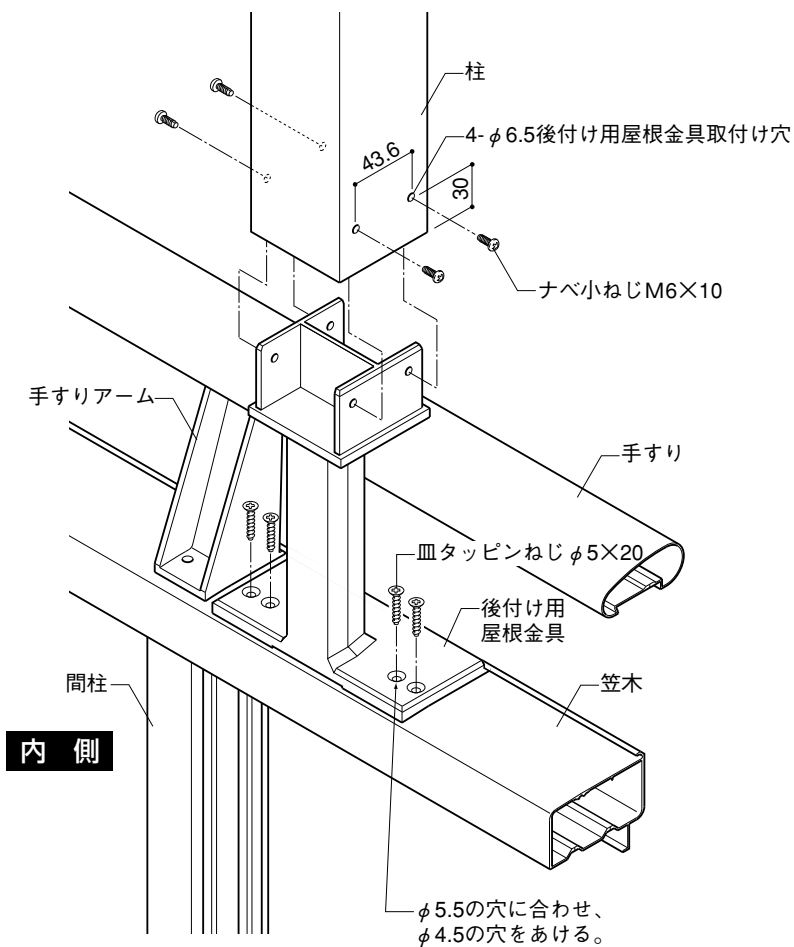
〔柱の切詰め加工〕

- 現場実測で寸法を出し、柱を切り詰めてください。
- 柱に $\phi 6.5$ の後付け用屋根金具取付け穴をあけます。

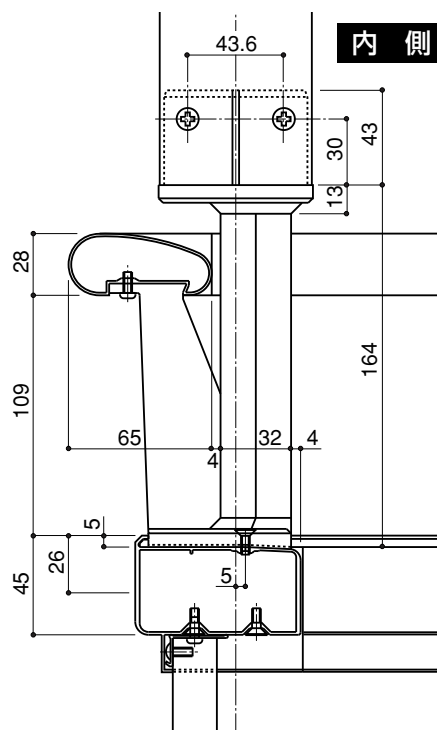
〔バルコニーへの取付け〕

- 笠木に $\phi 4.5$ の穴をあけ、後付け用屋根金具を取り付けます。
- ※後付け用屋根金具は、間柱の間近に取り付けてください。
- 柱を後付け用屋根金具に差し込み固定します。

〔フラットデッキⅡとの接続〕



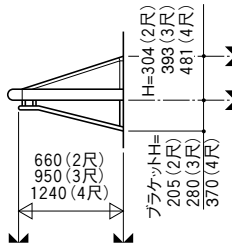
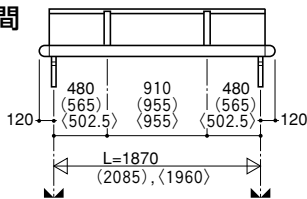
■後付け屋根取付部品基本図



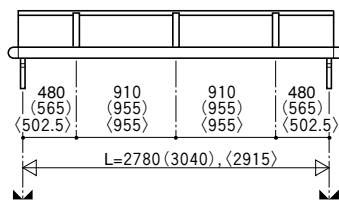
姿 図

() : 関西間
< > : 九州・四国間

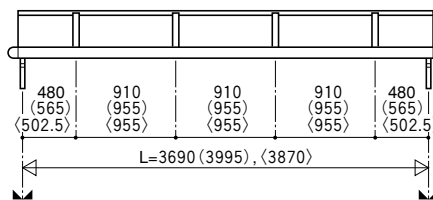
1.0間



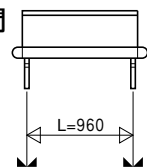
1.5間



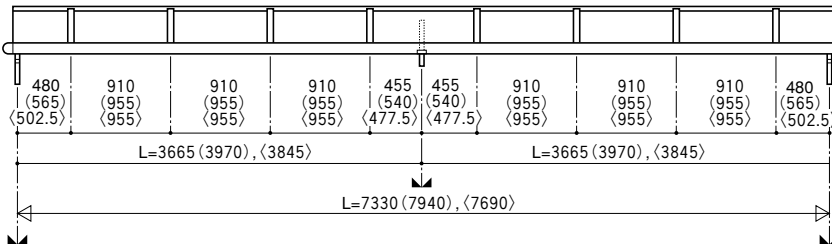
2.0間



0.5間

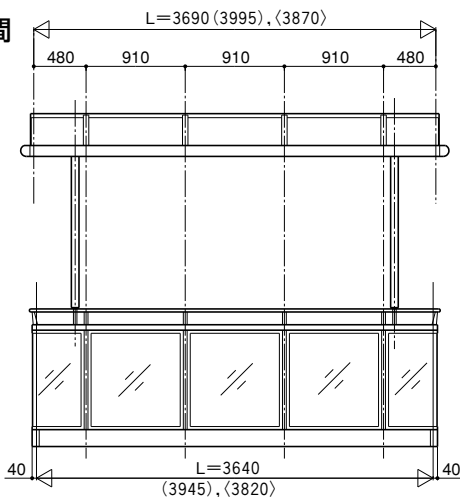


連棟4.0間

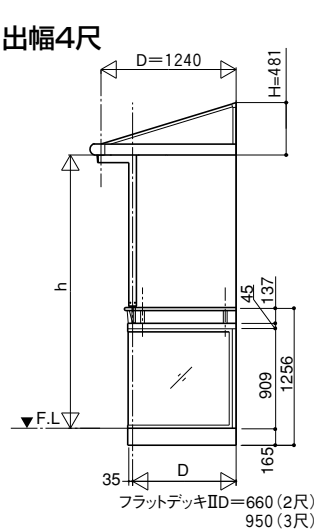


【フラットデッキⅡタイプ】

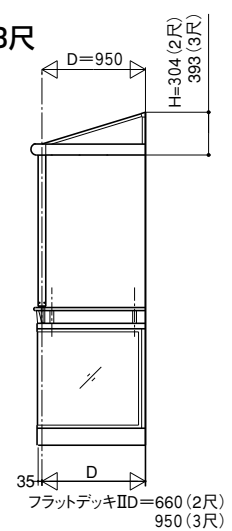
2.0間



出幅4尺

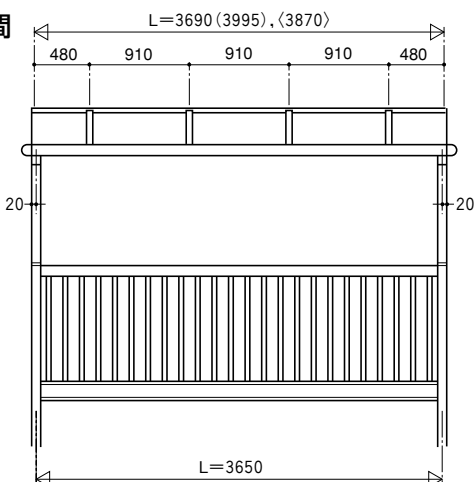


出幅3尺

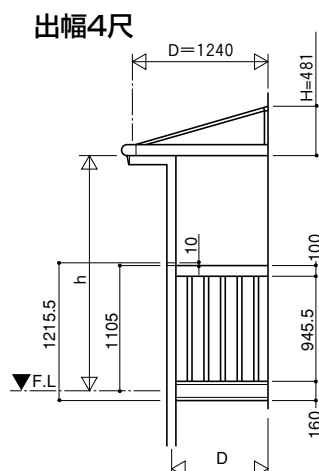


【スタンダードデッキタイプ】

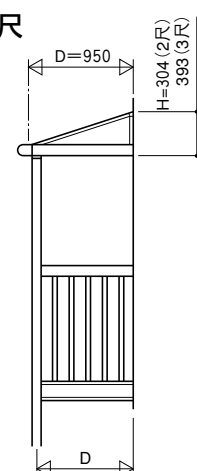
2.0間



出幅4尺

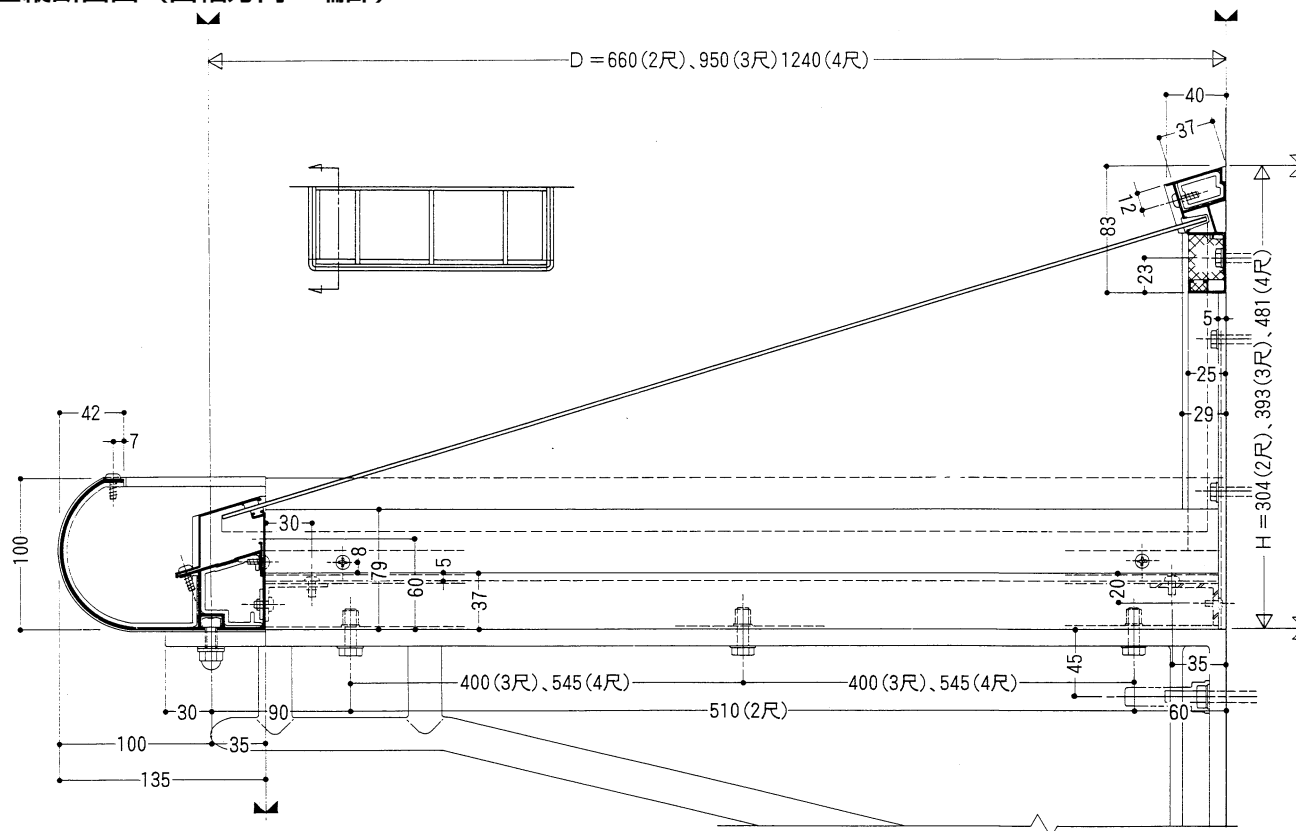


出幅3尺

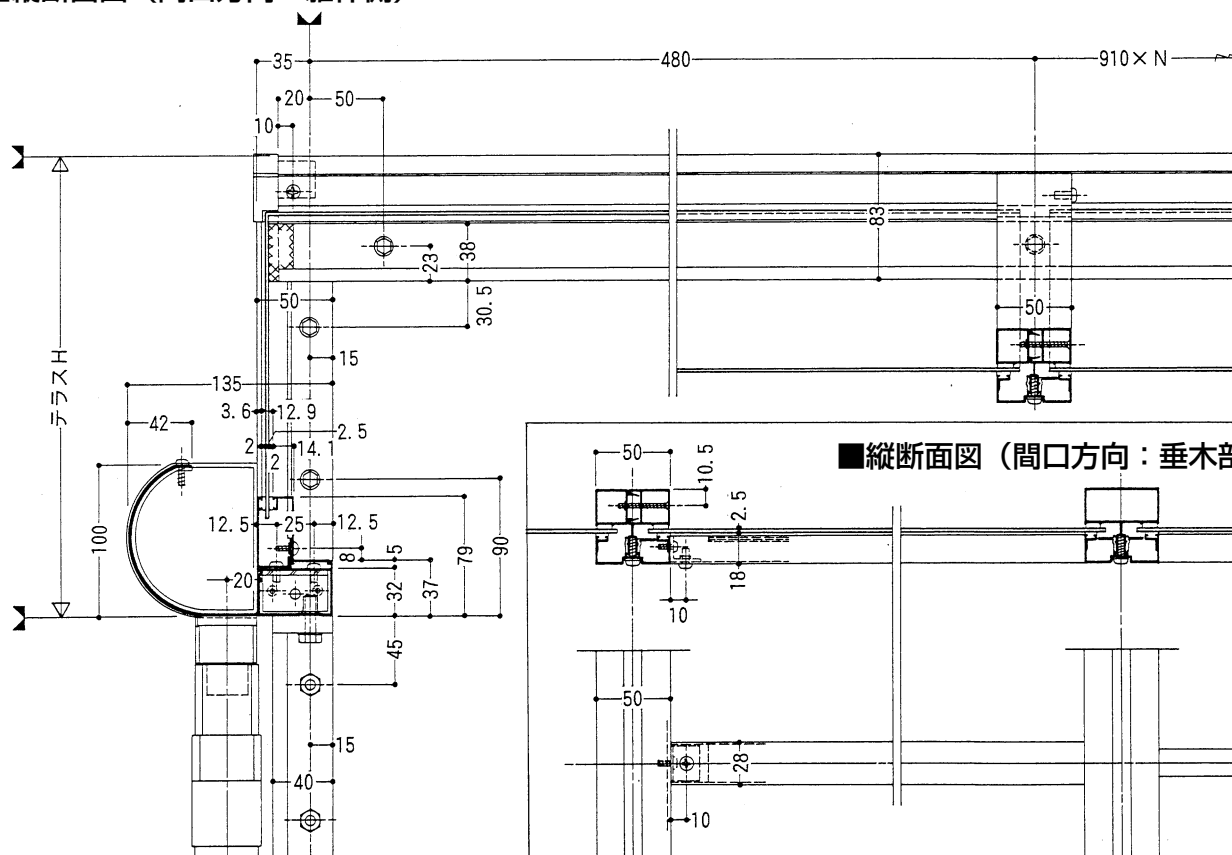


1

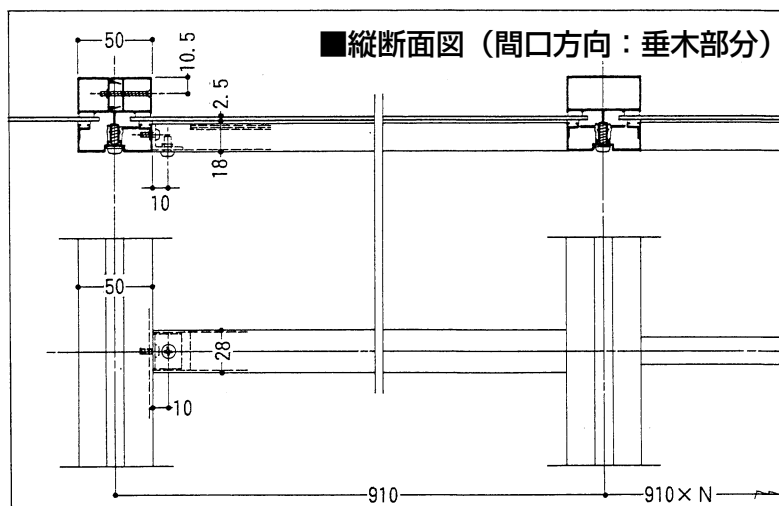
■縦断面図（出幅方向：端部）



■縦断面図（間口方向：躯体側）



■縦断面図（間口方向：垂木部分）



■平面図

(躯体モジュール)

910 × N

910 × N

910 × N

25

25

25

10

10

10

5

30

50

145

12.5

20

12.5

20

50

135

12.5

25

12.5

7

30

50

100

35

10

7

10

35

120

480

910 × N

455

40

15

21.7

28.3

50

82

15

15

50

80

27.5

27.5

215

12.5

12.5

215

連棟スリーブ (ℓ = 600)

D = 660 (2尺)、950 (3尺) 1240 (4尺)

L = 1870 (1.0間)、2780 (1.5間)、3690 (2.0間)



トステム株式会社
本社 〒136-8535東京都江東区大島2-1-1

●この商品に関するお問い合わせ先 商品相談室 TEL03(3638)8181